



日水連特別功労賞の銀盃を手にされる小山前会長を囲んで
(7月17日ジャパンマスターズ水泳大会の折り)



関東支部 夏季総会 (平5・7・26)

富村	近藤	浦野	林	阿部	井上	呉竹	岩切	守沖
	上村	関山	小山	山口	田淵	細田	黒田	



関東支部 忘年会 (平5・12・3)

三好	富村	佐敷	近藤					
北川	井上	林	鈴木	岩切	瓜生	伊藤	浦野	
小原	関山	小山	草野	山口	田淵			



宮崎	小柳	北中	磯山	河原	服部	尾下	中村	竹田	松島	大場	諫山	西野	松井	伊藤	林
	坂上		立松		小笠原	寺井		池永		今村	吉川		番場		島田
		高橋		長谷川			門			上田			寺田		



寺田	岡	斉藤	島田	番場	松井	宮崎	小笠原	平山	服部	竹田	磯山	瀧本	中村
	大場	寺井	立松		坂上								
					鈴木	渡辺	池永	藤川	門	北中		上田	
河原		井上		尾下		諫山		今村		金(監督)		小柳	

目 次

(表紙題字 藤井正太郎先生)

平成5年度 凌泳会総会並びに懇親会	2
平成6年度 凌泳会役員(案)	6
月見の宴	7
初 泳 ぎ	7
〔会員寄稿〕	
追 悼	9
故 太田正之君のこと	昭13学 伊 藤 英 二 9
大西さん、佐脇さんを偲んで	昭27学 石 井 義 章 10
マスターズ水泳との縁	昭21学 三 宅 林 12
小山名誉顧問 日水連特別功労賞受賞	昭30営 田 淵 五 郎 14
〔支部だより〕	
京阪神地区忘年会	昭59法 吉 岡 宏 之 15
関東支部夏季総会及び忘年会	昭30営 田 淵 五 郎 15
旧三商大戦観戦記	昭39経 鈴 木 正 弥 15
関東支部第6回ゴルフコンペ	昭35営 黒 田 英 雄 16
〔会員からのお便り〕	
凌泳総会案内状返信より	18
月見の宴返信より	28
〔マスターズコーナー〕	
1993年度 日本マスターズ短水路大会成績	昭46理 岩 切 博 38
1993年度 日本マスターズ短水路大会成績	38
ジャパンマスターズ'93(長水路大会)成績	39
'93レインボーカップ マスターズ成績	39
小山賢之助氏 世界10傑に入賞	40
1993年 日本マスターズ短水路大会10傑入賞者	40
マスターズ水泳協会へのお誘い	40
〔現役部員寄稿〕	
水泳部における自己実現	主将 門 謙 次 41
部員の心構え	主務 竹 田 匡 志 42
WE LOVE SWIMMING	競泳主任 上 田 純 也 42
「可能性」	水球主任 高 橋 一 弘 42
卒部の辞	平成6年度卒部者一同 44
現役部員紹介	2 回生一同 51
1993年度 活動報告	60
自己ベスト一覧表	80
歴代10傑表	82

平成5年度 凌泳会総会並びに懇親会

〈総会の部〉

日 時 平成5年5月22日(土) 午後12時より

場 所 六甲台 教官食堂

出席者

<u>古賀 克己(昭5)</u>	<u>吉野 栄(昭15)</u>	<u>岡本 忠男(昭15)</u>	<u>石井 義章(昭17)</u>
<u>田淵 五郎(昭30)</u>	<u>堂本 直正(昭30)</u>	<u>富岡 道雄(昭31)</u>	<u>岡田 重義(昭37)</u>
<u>萩原 武(昭37)</u>	<u>丸山 昱也(昭40)</u>	<u>酒井 正人(昭53)</u>	<u>村田 邦夫(昭53)</u>
<u>上田 剛弘(昭56)</u>	<u>山本 隆(昭57)</u>	<u>富岡 洋三(昭57)</u>	<u>金 一波(昭58)</u>
<u>吉田不二彦(昭60)</u>	<u>坂田 純孝(昭60)</u>	<u>加地 恵(昭63)</u>	<u>甲野 賢(平1)</u>
<u>中塚 泰弘(昭63)</u>	<u>染谷 光裕(平4)</u>	——は懇親会出席者	

生憎の雨ではありましたが、文字通り滴るような緑の木立に囲まれた教官食堂で、20名を超える会員の出席を得て、2時間余りにわたり熱心な議論で充実した総会を開催することができました。以下にその要点を報告致します。

吉野会長挨拶

昨年度は現役水泳部が立派な成績を残したのに反して、凌泳会は問題が多く残念。執行部を代表してお詫び申し上げる次第。若い人がもっと本会を引っ張って行ってもらいたい。

議 事

1. 平成4年度凌泳会活動報告並びに会計報告(岡田幹事長、山本会計幹事)

ここ3年間の運営の不振をお詫びする。昨年後半からの会員諸氏の特段のご協力により、財政運営正常化のめどが立った。水泳部への援助も予算通り90万円を実施でき、また全国大会も盛会で、記念事業として水泳部にビデオセットを贈呈することができ、練習の道具として大いに役立っている。

会計報告及び平成5年度予算案は別紙1の通り承認。

尚、平成5年度への繰越金1,231,261円には、幹事一時立替分840,000円(平成3年度190,000円、平成4年度650,000円)を含み、平成5年度予算で支出の部に返済計上されている。また平成4年度の会費納入者数は、正会員196名、準会員4名に修正。また平成5年度会費納入目録見数は、正会員185名、準会員5名に訂正する。平成4年度支出の部で会合費の支出が

0であったのは、月見宴、初泳ぎ、ミーティング等を全て水泳部会計で処理した為であり、事務印刷費が大幅に減っているのは、凌泳誌発行費の削減（後述）による。

次年度繰越金は、年度始めの大口支出項目である凌泳誌発行費（50万円）、同発送費（10万円）水泳部援助（30万円）、計90万円に充当するため、望ましくは90万円が必要であり、この意味では平成5年度予算は未だ問題を残している。

2. 平成4年度水泳部活動報告並びに会計報告（西尾主将、上山主務）

競泳部門は不本意な成績であったが、水球部門では関西ポロリーグ戦を完全優勝で飾ることが出来た。しかしインターカレッジには通用せず、明治大学に惨敗を喫した。この悔しさを今年のエネルギーとして、関ポロ2年連続完全制覇とインカレでの活躍を期したい。競泳部門は関西国公立戦での神戸大学の名を更に高めるべく努力を重ねたい。

会計報告並びに今年度予算は原案通り承認。凌泳会からの援助額は昨年と同額の90万円が計上されたが、現状の凌泳会財政事情ではこれが限界であり、早く100万円の大台に乗せられるように一層の会費徴収率向上が切望される。

3. 本部幹事交代及び増員（萩原）

① 幹事長退任、後任は空席とする。昭和62年度から6年間幹事長を務められた岡田重義氏が、70年史刊行事業の完結を機に退任され、後任は人選難により空席とする事で承認された。岡田前幹事長は引き続き本部幹事としてとどまり、会務の運営・処理は佐藤、富岡、岡田、萩原、上田による合議制とする。尚、対外的な窓口として萩原が代表幹事の任に当たる。

② 会計幹事交代。同じく昭和62年度以来会計幹事を務められた山本隆氏も退任され、後任には本会初めての女性幹事として加地恵さん（昭63法）が承認された。会員各位の絶大なるご協力を願う次第である。

③ 水泳部監督を本部幹事とする事。本会の主要事業である「水泳部への援助と指導」を一層充実させるため、特に現役とのコミュニケーションの強化を目的として、水泳部監督の金一波氏（昭59経）の本部幹事就任が承認された。

4. 運営委員の増員（萩原）

会員数が400名を数え組織的な活動を行うには何らかのコミュニケーション手段の整備が必要となった。現在4名の運営委員を10名に増員し、5年毎に運営委員を配置してコミュニケーション・ネットワークを形成する。

現委員	三宅 林（昭21）	石井義章（昭27）	富岡道雄（昭31）	岡田重義（昭37）
新委員	丸山昱也（昭40）	玉置 明（昭45）	長谷川健（昭49）	酒井正人（昭53）
	金 一波（昭59）	甲野 賢（平1）		

尚、凌泳誌に記載されている平石康（昭53）は酒井正人（昭53）に訂正。

5. 会則改訂（石井）

小山前会長の退任に際して、引き続き本会へのご指導を得るため名誉会長就任をお願いしたところ、名誉顧問ならとのお申し出があり、会則改訂が提案された。併せて、昨年退任された伊藤監事（昭13）、山口副会長（昭16）には顧問への就任をお願いし了承を得た。これに伴ない下記の通り会則の改訂が承認された。

第20条（運営委員） 一条文略一 の後に

第21条（名誉顧問および顧問） 本会に名誉顧問および顧問を置く事が出来る。

を追加し、現第21条以下を逐次ずらす。

6. 会費自動引き落とし制度の導入について 一別紙2参照一（富岡洋）

会員数の増大、水球競技の振興に伴う現役のスケジュール過密化、通信・交通コストの上昇、会費徴収率の低迷と財政の逼迫、振込の煩わしさと失念等々の理由により数年前より会員の中から銀行自動引き落とし制度の検討が提案されてきた。資金需要の大きいシーズン前半に財源を確保する必要性からも、是非とも会員各位のご理解を得たい。

会費免除者を中心とするご寄付の払込のため、現行の郵便振込も残す予定だが、別紙に示す通り、対象会員数270人弱の75%の加入が得られれば、寄付金を含む平成3年度の徴収総額を超える会費収入が得られると同時に徴収率も75%となる。

近々あらためて往復葉書にて会員各位のご意見を伺い、併せてご賛同を頂ける会員には口座番号を連絡して頂き、来年度からの実施に向けて準備を進めたい。

報告・意見・要望

1. 70年史刊行事業最終報告ならびに現役代表者への贈呈（石井）

三宅委員長に代わって石井編集幹事から最終報告が行われ、52名の未回収者が残っていることが報告された。また現役代表者への年史贈呈は西尾主将、上山主務、小笠原、斎藤両編集委員の4名に対して行われた。

2. 今年度凌泳誌発行のいきさつについて（石井）

財政逼迫のため一時発行が危ぶまれたが、その後の会費納入の進捗と現役諸君、特に編集担当の小笠原、斎藤両君の献身的な努力と全員のワープロ協力により印刷コストが大幅に低減され、更に会員名簿を省いた結果ようやく発行できた。

今後はコスト節減の意味から名簿は別冊にて3年毎の発行とし、中間年は異動記事のみ記載する事としたい。

3. 各種通知における責任者名と電話番号の明記（岡本）

今回の総会通知には会長名が抜けており不手際だ。問い合わせをするにも責任者が分からない。今後は必ず責任者名と電話番号を明記してほしい。

4. 凌泳誌から名簿を省く事は反対（吉田）

ワープロ奉仕を現役がしてくれたら、自分の関係する印刷屋で従来規模のものを45万円で印刷できるので再度検討してほしい。

以上で総会を終了し、岡本副会長のご挨拶で締めくくった。

懇親会の部

会場を学生食堂に移し、現役との交流懇親会を開催した。毎度の事ながら富岡氏から大量のアルコール飲料の差し入れがあり、学生食堂の料理もなかなかのもので、とても盛り上がった楽しい懇親会となった。

古賀氏の乾杯の音頭に始まり、OB・現役それぞれのなごやかな自己紹介を経て老若相交わっての話に花が咲き、有意義な2時間をすごした。田淵副会長の挨拶で締め、黄昏せまる六甲台をあとに各々二次会へと向かった。

（萩原記）



平成6年度 凌泳会役員(案)

会 長	吉 野 榮 (昭15学)		
副 会 長	岡 本 忠 男 (昭17学)	田 淵 五 郎 (昭30管)	
監 事	三 宅 林 (昭21学)	小 原 祥 男 (昭29管)	
幹 事 長	萩 原 武 (昭37工)		
幹 事	佐 藤 一 夫 (昭30法)	富 岡 道 雄 (昭31管)	
	岡 田 重 義 (昭37管)	上 田 剛 弘 (昭56管)	
凌泳編集担当	石 井 義 章 (昭27学)	吉 田 不 二 彦 (昭60管)	
現役監督担当	金 一 波 (昭59経Ⅱ)		
会 計 担 当	加 地 惠 (昭63法)		
名 誉 順 問	小 山 賢 之 助 (昭 7 学)		
順 問	伊 藤 英 二 (昭13学)	山 口 宗 樹 (昭16学)	
支 部 幹 事			
(関 東)	支 部 長	田 淵 五 郎 (昭30管)	
		黒 田 英 雄 (昭35管)	鈴 木 正 弥 (昭39経)
		佐 敷 定 雄 (昭49農)	三 好 岳 (昭62法)
		村 田 功 (平 2 管)	
(中 部)	支 部 長	井 上 隆 史 (昭37管)	
(中 国)	支 部 長	今 井 政 一 (昭24専)	
(四 国)	支 部 長	中 村 市 治 (昭15学)	
(九 州)	支 部 長	印 藤 勝 美 (昭18学)	
(関 西)	支 部 長	佐 藤 一 夫 (昭30法)	
	京 都	柳 本 正 雄 (昭37管)	
	阪 神	橋 本 力 (昭30工)	酒 井 正 人 (昭53農)
	姫 路	山 口 仁 郎 (昭32管)	
運 営 委 員	三 宅 林 (昭21学)	石 井 義 章 (昭27学)	
	富 岡 道 雄 (昭31管)	岡 田 重 義 (昭37管)	
	外 山 昱 也 (昭40工)	玉 置 明 (昭45経)	
	長 谷 川 健 (昭49経)	平 石 康 (昭53教)	
	金 一 波 (昭59経Ⅱ)	甲 野 賢 (平 1 理)	
	染 谷 光 裕 (平 4 理)		

月 見 の 宴

本年度の月見の宴は、いつになく冷たい六甲台プールで行われた。それもそのはず、あの“冷夏”の影響を、プールまでもが受けていたのである。その上、水中で生活している微生物の活発な活動のおかげで、プールの透明度は、底の白いラインが、かろうじて見える程度のものであった。

こうしたプールを舞台に、競泳の記録会、OB・現役対抗の水球戦などが行われた。その中でも目をひいたのは、神戸大学水泳部史上初の女子水球チームの登場であった。短期的な試みに終わることのないよう、彼女らの一層の精進を期待したい。

太陽が西の地平線に沈もうかという頃、プールサイドでは例年のようにコンパが始まっていた。男子の低迷、女子の躍進という構図を反映した戦績報告をはじめ、OBの方々のお言葉、1回生の自己紹介などで、いつの間にやら宴のひとつときは過ぎ去っていった。

強い日差しがいくらか残るものの、波の立たない静かなプールが、今シーズンの終わりを示していた。(河原記)

出 席 者

田中 克己(特)	吉野 栄(昭15)	富岡 道雄(昭31)	萩原 武(昭37)
酒井 正人(昭37)	村田 邦夫(昭53)	金 一波(昭59)	山野 和則(昭59)
藤本 栄美(昭59)	藤田 弥門(昭59)	吉田不二彦(昭60)	川原田 貢(昭61)
浜田 昌己(昭62)	中塚 泰弘(昭63)	加地 恵(昭63)	徳永 守(昭63)
近藤 直明(昭63)	井口 恵理(昭63)	甲野 賢(平1)	郡 幸雄(平1)
後呂 忠詳(平1)	羽瀬 智文(平2)	村田 功(平2)	岡崎 憲之(平2)
植松 忠士(平2)	家門 秀行(平)	小南 裕明(平6)	吉岡 晋一(平6)
山田 基洋(平6)	武田 直子(平6)	上山 敏正(平6)	木村 一也(平6)
西尾 泰紀(平6)	上村麻由美(平6)		

初 泳 ぎ

平成5年度の初泳ぎが、例年通り兵庫県立健康センターのプールで行われた。前日に練習があったが、水泳部の行事としては、今年初めてのものであった。まず参加されたOBの方々と共に練習し、

記録会が行われた。記録会でベストが出た者や、それに近いタイムが出た者もいて、まずまずの初氷ぎだったと言える。

その後、会議室にて懇親会が開かれ、現役及びOBの方々の今年の抱負などを話し合った。シーズン突入に向けて、部員一丸となって頑張っていかなばならぬと、気持ちが引き締まった。

(北中記)

出席者

石井 義章 (昭27)	松田 司朗 (昭32)	山口 仁郎 (昭32)	萩原 武 (昭37)
酒井 正人 (昭53)	桑本 万里 (昭55)	藤田 弥門 (昭57)	金 一波 (昭59)
羽瀬 智文 (平2)	染谷 光裕 (平4)	上山 敏正 (平6)	武田 直子 (平6)
山田 基洋 (平6)	吉岡 晋一 (平6)		



追 悼

平成5年度、下記の方々がお亡くなりになりました。ここに謹んでご報告し、皆様と共にご冥福をお祈り致したいと存じます。

記

御 尊 名	卒 業 年 次	御 命 日
足 達 英 彦 様	大正14年卒 (高商19回)	平成5年5月4日
太 田 正 元 様	昭和13年卒 (学部7回)	平成6年1月14日
大 西 繁 様	昭和25年卒 (学部20回)	平成5年3月15日
佐 脇 鷹 平 様	昭和25年卒 (学部20回)	平成6年2月1日

故 太田正元君のこと

(昭13学) 伊 藤 英 二

去る1月14日朝、太田君が亡くなったことを学友馬場君が連絡してくれた。病名は肺癌で、大正4年1月元日生れの79歳であった。16日の告別式に学7回生仲間と参列し出棺を見送って来た。彼は昭和13年卒業と同時に三井鉱山に入社、後分離した三井金属に移籍となり、専ら営業部門を歩き順調に昇進し、専務取締役となり停年で役員を退任した。

憶えば昭和10年に入学し、共に上筒井寮に入り共に水泳部に入部して以来約60年に渉る永い付き合いであった。学7回の水泳部員は6名で、彼は背泳、他は自由形であったが、特に早い者は居らず、そのせいか頗る仲が良かったと思う。彼のナイスハートは友人間に於いてのみならず、三井金属社内でも評判であったようである。先ず明朗で屈託がなく、他を詰ることがなく、思いやりがあり、親切で世話を厭わず、誠に申し分のない性格であった。

私にとって忘れられぬことの一つに、東京の宿さがしがある。戦時中結婚した私は、北海道から神戸行の途中東京に一泊することになり、宿を手配する羽目になった。当時既に軍や官の公用と称する筋でなければ宿の手配は難しい時期になっていた。加而神戸に住んでいた私は東京の東西南北が判り悪く途方に暮れたが、太田君の奔走のお蔭で本郷に泊る事が出来、どんなに有難かったことか心から感謝した次第であり、斯うして今も忘れることはない。何せ新婚旅行の途中の事であったから。

もう一つはゴルフ・カップの事である。昭和30年頃から七凌会でもゴルフが旺になり、カップを作

り七凌会コンペを年2回開催しようということになって、カップは高売柄太田君の責任で出来上り、昭和34年夏、第1回が始まった。その第1回目に私が優勝しカップに名前が刻まれた。そして此のカップの取切戦でも幸運にも私が優勝し、此のカップは今は私の手許に在る。因に第2カップも太田君が手配して作り、其のカップの下で年2回のコンペが今も続いている。併し太田君は数年前ゴルフ断念を宣言し、ゴルフの代りに専らマージャンに没入してしまった。残念だったが致仕方ない。

麻雀と太田君との関係は相当古く深いものだったらしく昨年12月、馬場君が病床の彼を見舞った時にも、家族に対して正月の麻雀のスケジュールの打合せをしていたそうで、それは死ぬ3週間前のことであった。又、告別式に於ける会社関係の弔辞でも家族の挨拶でも、彼が麻雀を心から楽しんでいたことに触れていた程である。

さて七凌会の酒席で、彼は酔う程に曰く「^{うぶ}初な俺を斯んなにしたのはオジイチャンのせいだ。入学早々からダンスや酒や、その他諸々を教え込まれたからだ」と。そんな時の彼は頗る気分よく愉快そうであった。水泳部6人の内、村上、高橋、富岡、土屋の4人は割合若くして亡くなり、今また太田君が明治生れのオジイチャン一人を残して逝ってしまった。だが私は生ある限り太田君のことを思い出すであろう。今は只ご冥福を祈るのみである。

平成6年2月10日

大西さん、佐脇さんを偲んで

(昭27学) 石井義章

大西繁先輩(昭25学)の訃を知ったのは昨年(平成5年)の暮れでした。凌泳会費払込のお願い状をお出ししたところ、奥様より、3月15日に亡くなりました、とお電話を頂きびっくりしたことでした。早速同期の佐脇鷹平先輩(昭25学)に追悼文をお書き頂きたい、とお願いしたところ、「彼は陸軍、俺は海軍で卒業後もあまりつきあい無かったからな……」と断られました。

ところが本年2月2日朝、新聞をひろげ、その佐脇さんご逝去の記事を見つけて愕然となりました。つい3ヶ月前お元気な声をお聞きしたばかりですのに……。

前述の通り大西さんは陸軍士官学校、佐脇さんは海軍兵学校のご出身で、共に任官間無しで終戦となり、本学へ再入学された次第です。

大西さんは綽名をポバイさんと言う偉丈夫、豪放磊落な御性格で、大きな口をあけて“ガハハ…”と笑われたお声が今も耳に残ります。昭和56年5月、第2回凌泳会全国大会が開かれ、その前夜祭として六甲山上の兼松寮で一夜を過ごした折、座興に腕相撲が始まり、少々腕力に自信のあった小生が

数人を勝ち抜き得意になっていたところへ大西さんが現れ、“これはやばい”と思う間もなくねじ伏せられてしまった事を思い出します。

佐脇さんは海兵同期（74期）の鈴木富夫さんと共に水泳部で活躍されました。2年後輩の私は水泳よりも、むしろ処世上の諸々の御指導を受けた様に思います。古いアルバムを開くと、六甲台の芝生に並んで立たれた写真があります。学生服に角帽を目深にかぶり胸を張った様子は、腰に短剣こそ無けれ、やはり海軍士官の姿でした。

ご葬儀は神戸市東灘区の中勝寺で執り行われ、27年卒の中井三郎、山本幸雄（海兵78期）の両君が参列してくれました。元丸紅副社長にふさわしい盛大なものだったとの事です。

懐かしい先輩が次々に亡くられるのは、なんとも寂しい限りです。遥かに御冥福をお祈り致します。

合 掌



[会員寄稿]

マスターズ水泳との縁

(第21号) 三宅 林

最近でも水泳の話をしていると、「プールは温水ですか」などと聞かれることがある。こんな人とは、それ以上水泳について話を続ける意欲を失う。常時泳げるこんな時代になっても、50歳を過ぎた大方の人は、水泳とは縁遠いものようである。自分としては中学以来やってきたのだから、もともと人一倍好きなほうではあるが、好きだと言っても水泳をずっとやってこられたかどうかは分からない。何ごとにもそのかわりには縁のつながりと言うものがある。

会社に入ってからしばらくは実業団の競技などに参加して泳いだが、その後はもっぱら社内大会に出たり、家が須磨海岸に近かったので、家族とともに夏だけの水泳であった。それから30年以上も経って仕事もそろそろ閑職になった頃、昭和55～56年頃であったと思うが、近所に山陽電鉄の東須磨スイミングスクールが出来た。懇意にしていたいた同社の社長さんも水泳がお好きで、だれかに私のことを聞かれ、早速一緒に泳ごう、とのお誘いがあった。当時は1週に1回、会社が退けてからの練習にすぎなかった。

数年経過して、このスイミングスクールのサークル内の記録会が西明石で行われ、おそろおそろ参加することになった。100mでゴールインすると、「先輩！ 1分43秒ですよ」と大きな声が出た。上を見ると、計時員の金一波君であった。その記録で協会の認定証AA級（最上級は3Aだが）を頂いた。この記録は間もなく短水路で1分40秒となり4年ほどは安定した。

その年（昭和62年—1987年）、たまたま神戸ポートアイランドの市営プール（長水路）でマスターズの全国大会があり、凌泳会会員の仲間と出場することになった。このプールの広い観客席に囲まれた、あの高いスタート台で久し振りにホイッスルとピストルの音を聞くのかと思うと、年甲斐もなく心のときめきと不安を覚えた。平泳ぎでは50、100、200に出場し、それぞれ5、5、4位に入賞し、初めてブロンズのメダルを頂いた。ひやかして50のバタフライにも出たら、運よく初めて銅メダルを貰った。これが全国大会への初出場であった。この年は今の私にしてみれば弱冠？64歳であり、60～64歳のランクであったので、翌年は65歳のクラスに入り最年少になるから、これはいけると自信を持つに至った。

そもそもこの競技に出る決意をつけて頂いたのは小山先輩と石井義章君で、この出場の前年、凌泳会総会で熱心なお勧めを頂いた。その時、小山先輩にアメリカで貰われた世界新の金メダルを見せて

頂いた。その後の神戸大会で初めて小山先輩の華麗な金メダルの泳ぎを見て大いに感激した。凌泳会の応援席には葉室鐵男氏も見えていた。そのあとマスターズ選手権では、翌年銀と銅、その翌年には金2個を頂き、1990年には思いがけなくも200平で世界10傑の10位にランクされた。ついでながら昨年は70歳でランク中では最年少だったが、期待した金を逃がし、銀2個と銅2個を買った。その中の銀1個は、240歳以上のメドレーリレー（田淵、三宅、岡沢、井上）のものである。

1987年以来7年になるが、短水路を含めメダルの数は既に50を越えている。2年前に肩の筋を切って3カ月ほど泳げなかったが、その後回復はしたものの、それ以後歳のせいもあるかもしれないがタイムが少し落ちてきている。

数年前の凌泳誌にく私の偏平足〉なる一文を寄せ、私の偏平足が非常に役に立っているのではないかと書いたが、その偏平足も最近少し張りが落ちてきたように思う。自由形、背泳と違って平泳ぎの場合の足裏の面積は極めて重要である。速さはこの足裏の面積と、水を後方へ蹴る脚力の相乗積であろう。誠に情けない事ながら、最近のタイムの落ちとの関連を感じざるを得ない。年齢とタイムとの関係は、明らかに起こる現象であるからこそ、5年ごとに区分したランクがあるわけである。

神戸のマスターズ大会や全国選手権大会に参加すると、凌泳会の先輩・後輩にも会えるし、また年に一度、この大会だけで会える他のグループの河童仲間にも出会い、お互いの健康を確かめあうのが楽しみである。また佐敷定雄君のように、私の泳法についていろいろとアドバイスをしてくれる人にも会える。彼の貴重なアドバイスによれば、私はスタート直後及びターン時の最初の一掻きが早すぎる、と言うのである。もともとせっかちのせいもあるが、私は蹴りの推進がまだ効いているのに、早々と次の掻きをやっているとのこと、私もそれを認める。これはゴルフのスウィングとも似ていていくらゆっくりやれと言われても、それがなかなか出来ないものである。彼によれば、それをやると100mで1～2秒は縮まる、と言うのである。その時思ったのは、来年も何秒かはきっと遅くなるがこれで幾分かカバーしてやろう、と。それからの練習では、それをいつも心掛けている。

小山先輩と古賀先輩が泳いでおられるお姿を拝しては、自分もあの先輩のお歳までは泳げるであろう、と思うのである。日本で最高年齢のゴルフプレーヤーである木村芳雄大先輩のご壮健も、やはり私たちの鏡である。この先輩方は、おそらく普段のご生活でもいろいろと健康にご留意なさっているにちがいないが、どの方も若い時の水泳がベースとなっているに違いないと、その共通点を自分に言い聞かせている。ますますのご健勝をお祈りしたい。また私に続くマスターたち、石井、岡沢、田淵、松田、安茂……各君のますますのご健泳を祈るとともに、現在泳ぎながら出場をためらっている人たちの参加を期待している。末尾ながら、マスターズ大会参加についていろいろとお世話を頂いている岩切君、坂井君に紙面をお借りして心からお礼申し上げたい。

小山名誉顧問 日水連特別功労賞受賞

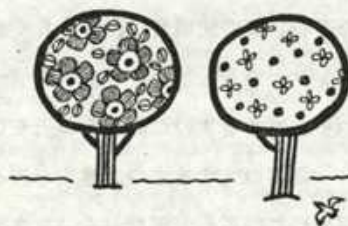
(昭30嘗) 田 淵 五 郎

名誉顧問・小山賢之助氏は、平成5年7月に日本水泳連盟から特別功労賞を受賞されました。これは、昭和35年から33年間の長きに亘って水連の監事を務められた功績を称えるための、文字どおり特別の賞であります。

なお、監事以前に同氏が水連の中核においてどれだけ尽くされたか、32年・33年に会長代行専務理事としてどんな活躍をされたかは、「凌泳七十年史」に詳述されています。

今回の特別功労賞受賞日が、丁度全日本マスターズ大会の会期中であったので、代々木プールの近くで、有志で祝盃を上げました。(巻頭写真参照)

さらに平成5年9月に85歳となられてからの同氏は、地方大会で25平、50平、100平の短水路マスターズ日本新記録を連発されています。その榮譽に対し、横浜市からスポーツ奨励賞(これで6~7回目)、主催クラブから最優秀選手賞などが贈られています。



[支部だより]

京阪神地区忘年会

(昭59法) 吉岡 宏之

恒例の忘年会が今年も富岡先輩(昭31)のご尽力により12月3日、神戸・三宮の「ドーム三宮店」でOB21名、現役5名が参加して盛大に行われました。

当日は、なんとカニ食べ放題、飲み放題のコースで、老いも(失礼)若きも大いに盛り上がった次第であります。もっとも、その昔六甲台のプールで鍛えられた強者がそろったせいもあり、カニも不足みでしたが。

忘年会のあとは、年代に応じたグループ毎に夜の三宮へ繰り出しました。

最後に、ひょんなことから今年幹事の大役を仰せつかることとなりましたが、気楽な楽しい宴会でありますので、来年度は諸先輩並びに後輩諸君も奮ってご参加いただきたいと思います。

<当日の出席者> 敬称略

古賀 克己(昭11)	岡本 忠男(昭17)	石井 義章(昭27)	山本 幸雄(昭27)
岡澤 幹夫(昭29)	堂本 直正(昭30)	佐藤 一夫(昭30)	富岡 道雄(昭31)
松田 司朗(昭32)	萩原 武(昭37)	安茂 弘(昭39)	丸山 昱也(昭40)
得丸 哲士(昭46)	高木 史子(昭53)	大野 智恵(昭54)	藤田 弥門(昭57)
杉野 誓(昭58)	藤本 栄美(昭59)	川原田 貢(昭61)	

幹事：吉岡 宏之(昭59) 吉田不二彦(昭60) 以上21名

関東支部夏季総会及び忘年会

(昭30嘗) 田淵 五郎

(昭39経) 鈴木 正弥

<平成5年7月26日 夏季総会出席者>

小山賢之助(昭7)	山口 宗樹(昭16)	関山 道雄(昭28)	田淵 五郎(昭30)
細田 忠雄(昭33)	上村 久治(昭35)	黒田 英雄(昭35)	林 荘八郎(昭38)
鈴木 正弥(昭39)	阿部 洋三(昭42)	井上与志男(昭47)	岩切 博(昭46)
呉竹 正人(昭59)	浦野 敏明(昭60)	近藤 直明(昭63)	守沖 敦(平1)

富村 英三（平5）

〈平成5年12月3日 忘年会出席者〉

小山賢之助（昭7）	草野 嘉一（昭7）	山口 宗樹（昭16）	関山 道雄（昭28）
小原 祥男（昭29）	田淵 五郎（昭30）	黒田 英雄（昭35）	林 荘八郎（昭38）
鈴木 正弥（昭39）	井上与志男（昭47）	岩切 博（昭46）	佐敷 定雄（昭49）
瓜生誠二郎（昭50）	北川 敏行（昭51）	伊藤 良一（昭52）	浦野 敏明（昭60）
三好 岳（昭62）	近藤 直明（昭63）	富村 英三（平5）	

平成5年は7月も12月も、出席予定の人が当日急に欠席されたりして残念でした。しかし出席者一同は極めて元気で、水泳談義、ゴルフの話、近況報告などに話がはずみ、楽しい一時でした。

場所はたいてい後霜クラブで、時間も少しは幅を持たせていますので、是非気軽にご出席願います。

旧三商大戦観戦記

平成5年8月15日、時々小雨の一橋プールに来援のOB次の通り。

田淵 五郎（昭30）	林 荘八郎（昭38）	鈴木 正弥（昭39）	前田 和秀（昭40）
阿部 洋三（昭42）	玉置 明（昭45）	佐敷 定雄（昭49）	太田 雅彦（昭58）
呉竹 正人（昭59）	浦野 敏明（昭60）	日比 勝己（昭62）	三好 岳（昭62）
有利 英明（平1）	小笠原朝隆（平2）	村田 功（平2）	柴田 英之（平3）

現役部員数の多いのにも驚いたが、OBの来援者数も過去最高であったと思う。休憩時間には全員が泳ぎ、また有志は、OBオープン水球戦にナイトー照明のもと参加して元気ぶりを見せた。

関東支部第6回ゴルフコンペ

（昭35営） 黒田 英雄

平成5年5月1日、茨城県の勝田ゴルフクラブで次の12名（敬称略）が集まり、壮絶な？試合が展開された。久しぶりの晴天ではあったが、5月といえぬ寒さで、セーターの上にウインドブレーカーを着てちょうどよい天候であった。

当日の出席者

山口 宗樹 (昭16) 上村 久治 (昭35) 黒田 英雄 (昭35) 林 荘八郎 (昭38)
鈴木 剛弘 (昭39) 荒井 康之 (昭38) 鈴木 正弥 (昭39) 武政 英幸 (昭39)
山口 幸郎 (昭41) 木内 資雄 (昭44) 井上与志男 (昭47) 佐敷 定雄 (昭49)

優勝した武政君は大阪からの一時帰京。47・47 gross 94、ネット74でまわり、ぶっちぎりの優勝。あとは岡にあがったカップ。スコアはいわずもがな。

最長老の山口氏は常時アイアンを目いっぱい振り回し、よく健闘された。上村氏はドラコン賞を見事獲得。

唯一コースを知っている私(黒田)は実力をわきまえず、谷越えに挑戦、連続OBでブービー。林君は慎重にパットを沈めて3位に入賞。鈴木剛弘君は私とブービー賞を争ったが、むしろオリンピックのダイヤモンドをとって喜んでいた。

荒井君は申告ハンディ10をさらに2つ縮めた。普段はもっとうまいのだろう。鈴木正弥君は愉快にまわって、ラッキーセブンに入賞。

木内君は前々回の優勝者だが、今回も2位に入る。めきめき実力をつけている。

本文は「凌霜320号」(93年8月発行)に掲載されたものを、殆どそのまま再掲。



会員からのお便り

凌泳総会案内状返信より



木村 芳雄 (大15高)

今年90歳となりましたが、まだまだ元気で、月2回はゴルフを楽しんでいます。すでに日本一の長寿ゴルファーですか、もう5年はゴルフを続けたいと思っています。

草野 嘉一 (昭7学)

まあまあ元気です。3月末に10日ばかりAustraliaへ行って来ました。相憎同行の娘、孫娘達が順繰りに風邪をひいて、Surfer's Bradiseでも泳ぐChanceを逸したのは残念でした。小生は風邪をひかず、「百薬の長」のおかげと思っています。

板野 龜八郎 (昭9学)

残念ながら本年も欠席、不悪。出席の諸兄によりしくお伝え下さい。

伊藤 英二 (昭13学)

来る6月3・4日、同期生の会が神戸で催される際、3日午後、大学を訪れる予定で居ります。プールを見に行くつもりで居ります。

太田 正元 (昭13学)

糖尿病に悩まされていますが、一応元気でいます。

満野 公介 (昭14学)

毎回案内頂き有難う御座います。丁度差支えがあるので参加出来ず残念です。

大西 真博 (昭15学)

おかげ様で無事過しています。年々体力の衰えは感じます。毎日少しずつ運動しています。若い頃の張り切った日常の生活が懐かしく思い出しています。学生の頃の六甲台、今頃はさぞ南風が吹いて気持ちのよい頃でしょう。海・山を眺め、浩然の気を養って下さい。学生諸君のご健闘祈ります。

春がすみ たなびく下の向こう山 なだり一面 若葉もえ出ず

平井 洋 (昭16学)

これよりは 気ままに生きむ 葱坊主 年並みに 句友蕃友増ゆ 古茶新茶 洋城

山口 宗樹 (昭16学)

在京の年配者の出席率が悪くなっています。併し一般的にお元気ですのでご安心下さい。現

役の方々の御健闘を祈ります。

岡本 慧夫（昭16学）

今年夏期、北海道旅行を計画しており、今から足腰の鍛錬に力を入れております。

前田 寿（昭16学）

檜若葉 目にしみるぞ 老河童

尾上 信三（昭17学）

本年のご健闘を期待し、お祈り致します。

木村 京一郎（昭17学）

平泳で潜ることが多かった為か肺活量は常人の2倍以上ある。しかし吐き出す力が弱い。肺気腫が進行していると診断されました。少し体を動かしても心臓がドキドキ。旅行も写真撮影も出来なくなると思ふと寂しくなります。

富中 暁（昭18学）

一昨年から水曜以外日曜（非常勤）ですが、昨秋漸く町内会長（団地116世帯）をやめさせて貰いましたので、今年はヘルスクラブ滞留時間が増加、本日現在八万米泳いでいます。昔この位泳げばお役に立てたでせうか？ 肋膜炎と総務部で失ったプールサイドの生活を思い出してゐます。皆々様の御健勝を祈り上げます。

山内 利男（昭20経）

今年も日印関係の委員会・研究会の仕事で終始しています。毎年数回のインド出張の時、いつも水泳着を携行しながら、最近陸に上った河童です。御盛會を祈る。

石井 喬（昭21経）

肺がん術後7年になり、御陰様で元気に過しております。現在、現在の会社の相談役となり週2回東京へ勤務しております。

三宅 林（昭21経）

業務の都合により欠席します。よろしく御願ひします。

小西 信次（昭23経）

当日、同時間に大阪凌霜クラブにてゼミの喜樂会の開催あり、既に出席の返事を出しました。久方ぶりに出席したかったのですが、残念ながら欠席致します。諸兄にどうかよろしく。尚、現勤務先・村田長樹を来る6月末に退社致します。

山越 重義（昭23経）

海外旅行中にて欠席します。皆さんによろしく。

今井政一（昭24専）

昨年9月一杯で非常勤にして頂き、いささかのんびり致しました。今年はゆっくり遊泳を楽しみたいと思っております。若い皆様の御活躍お祈りして居ります。

中川正敏（昭25経）

現在週3日、大阪の事務所に出勤。毎日を健康で快適に過しています。

山本幸雄（昭27経）

退職後も健康に恵まれ、無事消日しております。当日は所用にて欠席致しますが、会の盛会を祈ります。

石井義章（昭27学）

刊行が気遣はれた「凌泳」誌が無事立派に出来上った、との報告を受け喜んでおります。その陰には、現役諸君が進んでワープロを打ち、費用の節減に努力してくれた由、有難い事と感謝しております。小生腰痛手術の傷も癒え、水泳、山歩き、旅行と第二の青春を楽しんでおります。

今枝一（昭28営）

幹事様、御苦勞様です。諸氏によりしく御伝え下さい。

小原祥男（昭29営）

欠席します。よろしくお願ひします。

溝口汪（昭30営）

停年退職して1年になります。現在は魚釣、百姓、ゴルフと、もっぱら自然を相手に暮しております。

村田邦夫（昭30法）

神戸の西神中央の、とあるマンションに今年の4月に引越して来ました。やっと落ち着いてきたところです。

（新住所は、〒651-22 神戸市西区榎野台5丁目3番地2-410号 TEL.078-993-3090）

田淵五郎（昭30営）

例年の通り、全日本マスターズ短水路大会に参加のため泳ぎ続けています。今年は3会場に出場します。

堂本直正（昭30営）

総会には数年欠席を続けており申し訳ありません。今年はぜひに出席し、新緑の六甲台学舎を散策し、皆々様（先輩、同輩、若い方々）にお逢いさせていただきます。

松田 司 朗 (昭32法)

4月10～15日、ニュージーランド・マスターズにて100m、200mフリー8位、50mバック7位に入賞致しました。家内も100m平泳ぎ9位(ニュージーランド国鳥キッーイ)にかけて喜んでいました。皆様に宜しく。

高橋 靖 周 (昭33経)

去る4月11日、神戸市舞子で卒業35周年の全国記念大会が盛大に開催されました。喜んで出席し、20～30年振りに石本茂樹君に会い、やっぱり来てよかったと思えました。しかし他の凌泳会の同期生、細田、阿部、岡見の三君にお会いができず残念でした。今年も総会に出席できず申し訳ございません。ご盛會を心からお祈り申し上げます。

岡村 司 (昭34法)

御出席の皆様方に欠席の非礼をお詫び申し上げます。

栄川 泰 介 (昭34経)

昨年より兼松と合併でマレーシアに会社を設立し、相憎5/19から約10日間出張します。諸先輩によろしく。

永野 一 彦 (昭35経)

所用の為、出席できず残念です。皆様方の益々の御健勝と御活躍を祈り上げます。当方、相変わらず内外に向けてバタバタして居り、もっと落ち着いた人生が来てくれるのを心待ちにしています。(当方が悪いのかも知れませんが……)

萩原 武 (昭37工)

現役諸君には大変お世話になります。今年もどうかよろしく。総会でお目に掛かれるのを楽しみにしています。

米田 啓 祐 (昭37教)

昨年4月、マスターズ大会に、凌泳会で初参加させてもらいました。本年は日程の都合がつかず参加できませんでした。7月の天の橋立トライアスロンというのに参加の予定です。

井上 隆 史 (昭37営)

当日は、残念乍ら先約があるので欠席します。マスターズの日程も決ったようなので、練習を少し増やして体調を整えたいと思っております。皆様のご活躍をお祈りします。

岡田 重 義 (昭37営)

新入生諸君を迎え、悔いのないシーズンを送って下さい。活躍を祈念しています。

高岡 保 宏 (昭37教)

当日所用のため欠席します。ご出席の皆様によろしくお伝え下さい。ご盛會を祈っています。

林 莊八郎 (昭38経)

5月1日に東京のメンバーで楽しくゴルフしました。黒田さんの幹事で、山口先輩のご参加を得て3組でプレーしました。小生は3位。

窪田 信雄 (昭38法)

なかなか行事に参加できず申し訳ありません。諸先輩によろしく。

藤岡 治男 (昭38教)

凌泳会総会ご案内頂きましたが、当日生徒を引率しての宿泊行事があり、欠席させて頂きます。ご参加の皆様によろしく。会費の納入の件、銀行自動引落し制度賛成です。ついつい忘れることがありますので。

安茂 弘 (昭39工)

大変御無沙汰しています。会社の人の結婚式出席の為欠席します。よろしくお願い致します。

武政 英幸 (昭39経)

先約あり欠席致します。単身赴任して1年経過しました。あと1年は続く予定です(3男坊が高校を出るまで)。

鈴木 正弥 (昭39経)

遠隔地につき、残念乍ら欠席させて頂きます。凌泳会費納入の手間を省くため、銀行自動引落し制度を是非実現して頂きたい。凌霜会費もそれを利用して頂き、気分的にすっきりします。御参会の諸氏によろしく。

堤 莊祐 (昭39教)

相も変わらず子ども相手の毎日です。土日出勤の変則勤務で出席不可です。6年経ちますが、一種の“水”商売とも言えるかもしれません。ご盛会であります様。

前田 和秀 (昭40法)

マスターズ目指していますが、花粉症と多忙の為、練習時間が仲々取れません。参加する事に意義を求める事にしました。今年の現役諸君の御活躍を期待しています。御出席の皆様によろしく。

横田 興二 (昭40法)

皆様の今年の御活躍を祈っております。

手嶋 忠之 (昭41理)

御無沙汰致しております。私も今年は50歳の声を聞き、体の衰えを強く感じる様になりました。今でも時々泳いでおりますが、タイムはどんどん遅くなってきています。皆様の御活躍を祈っております。

中 畑 勝 明 (昭41営)

水泳とはすっかり縁遠くなってしまいましたが、代わって息子達が大学で水泳をやっています。

山 口 幸 郎 (昭41工)

凌泳会関東支部の5月のゴルフ大会に参加しました。住所変更しました。皆様によろしく。

宮 部 高 博 (昭42文)

毎日が可成りの早さで過ぎて行きます。凌泳会の諸兄にはご無沙汰しております。六甲台のプールもなつかしく、出来れば一度行ってみたいものです。御出席の皆様によろしくお伝え下さい。

阿 部 洋 三 (昭42工)

7月の日本マスターズに向けて練習にはげんでいます。100 m Baにも出ようと思うのですが、納得のいく泳ぎが出来るかどうか？

玉 置 明 (昭45経)

少しでも泳ぎたいとは思っていますが、仲々泳ぐ時間がありません。健康維持の為に泳ぐことにします。

岩 切 博 (昭46理)

一度機会を設けて顔を出したいと思っていましたが、なかなか日が合いません。凌泳会の活動も大変でしょうが、マスターズの方もよろしく。

小 林 育 夫 (昭46工)

本年よりマスターズに参加すべく、週一程度の練習を本気に始めてます。

井 上 与志男 (昭47法)

東京へ来て早や5年が過ぎました。先日、法事で神戸に帰り、久し振りに新緑に萌える六甲の山なみを見て、あらためてその美しさに新鮮な感動を覚えました。時間が合えば是非総会に出席したいのですが、皆様にごろしくお伝え下さい。

藤 井 元 洋 (昭48教)

パラグライダーを始めました。上空から見た地球は、またちがった感じがします。鳥になった気分です。

佐 敷 定 雄 (昭49農)

案内を頂く都度に感じるのですが、「又、今年もカップのシーズンが始まるのだな」と改めて確認しております。私の水泳シーズンは、すでに始まっておりまして、2回ほど競技会に出場しましたよ。50 m バタで29秒43、100 自で1分2秒76と現役の頃のようなタイムが出

ました。よいすべりだしです。現役諸君の今年の活躍を期しています。皆様によろしくお伝え下さい。

長谷川 健 (昭49経)

当日所用あり欠席致します。御出席の皆様宜しくお伝え下さい。

家本 博 (昭50経)

いつも欠席して申しわけございません。相変らずロシヤ、東欧の経済研究を続けております。今年2月に続いて7月にも調査旅行に出かけます。

中西 康之 (昭52工)

近くに居りながら仕事の都合で今年も又、欠席させて頂きます。会費の自動引落し制度導入につきましては、弊方の性格上大助かりです。

松井 玲子 (昭52教)

奈良女子大学大学院文学研究科で勉強を続けています。

木下 修一 (昭53教)

まじめに生きています。かつての同僚諸君、先輩、後輩諸氏の御活躍ぶりに励まされています。

平石 康 (昭53教)

ご盛会お祈り申し上げます。

上田 剛弘 (昭56経)

大変ご無沙汰しており申し訳ございませんでした。今年は何とか出席できそうです。まだまだ若いと思っていたものの、自分が学生の頃、今年の新入生は小学校に入っていないと思うと、光陰矢の如し、の言葉がひしひしと身にしみてまいります。現役諸氏の活躍を期待しております。がんばってください。

白子 靖則 (昭57営)

いつも欠席で申し訳ございません。今シーズンのご活躍をお祈り致します。

山本 隆 (昭57経)

神戸市の空港整備室に異動しました。神戸空港実現のために頑張ります。

石本 日和子 (昭58教)

ご無沙汰ばかりで申し訳ありません。元気にしております。今年1年生を担当しています。子どもと教育をめぐる状況は、決して“よい”とは言えませんが、それでもめげずにマトモに育っている子どもを見るにつけ、人間ってナカナカ捨てたもんじゃないナ、と思っております。教師という仕事のおもしろさ、楽しさがやっと見えてきたカンジ。いわゆる働きざかり子育て

てリアルタイムおばさん教師として奮闘しております。皆さんによろしくお伝え下さい。

杉野 美奈 (昭58準) 松蔭女子短大

子育てに追われる毎日です。10月にはまた子供が生まれます。

金 一 波 (昭59経)

最近、二日酔いが三日、四日と尾を引くようになりました。体力のおとろえを痛感する今日この頃です。

呉 竹 正 人 (昭59法)

相変わらず太れませんが元気にやっております。

谷 水 利 行 (昭59法)

今シーズンの御活躍を祈念しています。毎回欠席で申し訳なく思っております。

山 野 和 則 (昭59理)

転勤にともない多忙な日々を送っています。スポーツどころではありません。買うたびにス
ーツのウエストサイズが大きくなっています。

浦 野 敏 明 (昭60営)

今年から実業団もマスターズも、30歳以上の部への出場となりました。不得手の50mが中心
となりますが、「スプリンター」へ脱皮しようと思っている今日この頃です。現役諸君、今
年も頑張ってください。関西水球リーグは是非とも、いや絶対にV2を達成して下さい。でき
れば応援に行きたいと思います。

坂 田 純 孝 (昭60法)

今年2月に本店審査部に転勤しました。上の子供も小学生になり、公私共多忙な日々を送っ
ています。

土 井 健 治 (昭60経)

皆さまお元気ですか。6月10日には第2子誕生予定です

中 川 善 雄 (昭62工)

営業マンになって早や1年半。最早工学部出身というよりは、やはり水泳部出身であった、
という今日この頃です。

近 藤 直 明 (昭63営)

今年は関ボロを見に行きたいと思いますので、必ず優勝できるよう練習に励んで下さい。

井 口 恵 理 (昭63工)

相変わらず図面を描く毎日を送っております。

甲野 賢 (平1理)

まだまだ六甲にいます。

岡崎 景子 (平1教)

今年2月21日に長女真衣の誕生。育休をとり、ゆっくりと育児に専念しています。日毎に成長していく姿を見るのが、とても楽しいです。はやく一緒にプールに入れる日が来るといいな。

黒田 茂 (平1農)

4月に転勤になりました。とはいっても相変わらずの関西です。今年こそ試合の応援に行きたいと思っています。

奥村 直樹 (平1経)

近年は水泳は週1回程度しかできず、ブクブクと太ってしまっております。今年は気を入れなおして、近所のswimming schoolに通おうと思っております。会費納入の銀行自動引落しの件、現役員～OB・OG間のコミュニケーションが、ますますなくなるような気がしてならないのですが……。私個人の危惧に終わればと思います。

岡崎 憲之 (平2教)

自然学校(5泊6日)の付き添いのため、当日は欠席させていただきます。また試合の応援に行きたいと思います。今年度もがんばって下さい。

枝沢 百合子 (平3教)

現在、ECC三宮校、加古川西校で英語講師をしております。22日(土)は都合が悪く出席できませんが、もし時間ができれば少しだけ顔を出そうかと思っております。現役の皆さんいよいよシーズンですね、頑張って下さい。

城 一男 (平3営)

残念ですが所用のため出席することができません。関ポロがんばって下さい。

柴田 英之 (平3農)

相変わらず一橋大学にお世話になっています。今年はゴールデンウィークから泳ぎ始めました。心なしか寒さに強くなったような気がします。

一越 健治 (平4経)

4月よりアメリカ・ロスアンゼルスに転勤しました。

浅川 明弘 (平4医)

お仕事御苦労様です。

井上優子（平5文）

新入生の方共々が頑張って、楽しい思い出の残るシーズンにしてください。

富村英三（平5営）

一試合一試合、精一杯頑張ってください。

中畑寛之（平5教）

勝手ながら欠席させていただきます。諸先輩はじめ皆様によろしくお伝え下さい。

吉元佳津子（平5工）

4月28日付でアパート部門の部署に配属されました。毎日毎日、机の上の電話が鳴るたびにびくびくしてしまう、弱気の新入社員です。今回は残念ながら欠席致しますが、試合には応援に行かせてもらいたいと思っていますので、又よろしくお願いします。現役のみなさん、今シーズンも頑張って下さい。

魚住香子（平5準）

大学院でまだ学生をしています。試合の応援には、できるだけ行こうと思っています。がんばってください。

篠原弓（平5準）

お久しぶりです。お元気ですか。今月の30日からいよいよ試合が始まりますね。みなさん頑張って下さい。遠くから応援しています。

中末佳恵（平5準）

申しわけございませんが、欠席させていただきます。次の機会には、ぜひとも参加させていただきたく存じます。みなさま方、試合頑張って下さい。





月見の宴



岸 楢夫（特）

月見の宴のご案内を戴きましたが、先約の会合があり欠席いたします。御盛會を祈ります。
皆様によろしく。

川北 正喜（大13高）

眼が不自由な外は全く健康で、趣味の生活を愉しみおります。

木村 芳雄（大15高）

卒業と同時にゴルフを始めて（大正15年1926年）何と67年間やっています。日本一の長寿
ゴルファーで、年寄仲間では知らぬ者は居ません。

香山 孝一（昭6高）

平成3年1月1日に自動車にぶつけられ4ヶ月入院。現在も後遺症に悩んでゐます。

植木 實就（昭6高）

老化、脚、眼。若い諸兄の一層の御健勝を祈ります。

草野 嘉一（昭7学）

3月下旬、娘、孫娘2人（いずれも大学生）の4人で豪州に行き、ブリスベーンからシドニー
までドライブを楽しみました。運転は女共にまかせ、私はナビゲーターです。シドニー
で日豪の旧友20数名を招いてパーティを催しました。

板野 龜八郎（昭9学）

異常気象の年も3分の2が過ぎました。段々と身体を動かすのが億劫になって来ました。水
に入らなくなって40年近くになります。一度覚えた泳ぎは忘れないと思いますが、しかしプ
ールに入ったとき、うまく泳げるだろうか？ 等とつまらぬことを考えています。盛會を祈
ります。

古賀 克己（昭11学）

一応元気で日常を過していますが、8月初め、検診で右肺疾患と指摘され、泳げなくなりま
した。養生回復したら又始めますが、それまでは残念ながら競泳はダメかと思ひます。遊泳
には行くつもりです。会合には出るでしょうが……。

小池 三郎（昭11学）

何とか元気を保って生活をしております。ご盛會を祈ります。その他は変わりありません。

太田正元（昭13学）

どうやら元気でいますが、糖尿病の関係にて外出少なし。月見の宴は懐しき思い出です。

伊藤英二（昭13学）

まづまづ元気で居ります。

満野公介（昭14学）

毎年御案内有難う御座います。色々な都合で参加出来ないのが残念です。然し毎日元気でやっております。

大西真博（昭15学）

おかげさまで元気でおります。今年は台風の多い年です。55年前、昭和13年夏、大学2年生のとき、神戸は大水害でした。六甲山に低気圧が停滞して、220ミリの豪雨だった間、石屋川の下宿のタバコ屋の2階で、前の道が川となり家がゆれていました。災害が起らぬ様祈っています。皆様のご健闘感謝します。

大うねり 寄せてくる浜の沖ノ島に 白波崩れて飛沫を上ぐる

吉野 栄（昭15学）

異常気象にめげず、どうやら元気です。仲間が次々と減り、些か淋しき限り。月見の宴、参加たのしみにしています。

山口 宗樹（昭16学）

現役の皆様のご活躍、凌泳其の他で拝見して、たのもしく存じて居ります。小生、腕が痛くなったり、膝が痛くなったり、老化現象も順調に進行して居り、その中でホール・イン・ワンをゴルフでしたり、忙しい老後を通して居ります。

前田 寿（昭16学）

名月や 歯抜け河童は 宴の外

尾上 信三（昭17学）

天候不順で、練習にもご苦勞であったと思います。来年を目ざし、メゲずに頑張ってください。残念ですが欠席します。

富中 暁（昭18学）

相変わらずヘルスクラブの水泳とサウナに励んでいます。水曜以外は日曜となって、ヘルスクラブ滞留時間と泳ぐ距離はのびていますが、体力とスピードも年齢相応に低下。ともかく病気にならず、毎晩飲めることに感謝しています。

井上 清（昭19経）

欠席ですみません。御盛会を祈ります。先日、こちらに神造墓を建て、全く身内17名（その

うち9名が元気)を集めて、金光教の運碑式をやりました。ともかく元気で、有難いことと思っています。皆様によろしく。

石井 喬 (昭21経)

肺がん手術して満7年がたちましたが、元気に過しております。本年8月より特別顧問となり、週1~2日勤務しております。

今井 政一 (昭24専)

悪天候ばかりの夏が過ぎました。シーズンも終りですね。先般御送付頂いた凌泳を見て驚きました。其の節、中国支部長就任の御依頼、お断り致しましたのに、總會で就任決定の由。名前だけでも、とはいわれましたが、色々の会合に欠席ばかりで御迷惑をお掛けすると申し訳なく存じて居ります。其の辺一つよろしくお取計い下さいませ。皆様に暮々もよろしく。

佐脇 鷹平 (昭25経)

リハビリの最中です。元気になって参加したいですね。そのつもりでやっています。

前原 俊夫 (昭25専)

陸に上がりっぱなしのカッパになりました。ゴルフばかりしています。

中井 三郎 (昭27経)

毎日一万歩を心掛け、元気にしております。

山本 幸雄 (昭27経)

丁度17~19日、タイよりの来客ありますので、欠席させて頂きます。月見の宴の盛会を祈念します。ご出席の皆様によろしく。私自身は相変らず健康に恵まれ、消日しております。無職になって一年すぎましたが、運動不足にならぬよう注意はしております。

関山 道雄 (昭28経)

ことしの夏、久し振りにプールへ行きました。孫のお守りです。元気に勤めておりますが、そろそろ引退の時期が迫ってきています。「毎日が日曜日」になったら、何をして日を送るのかを模索中です。

岡澤 幹夫 (昭29工)

マスターズの各大会を目指して毎日泳いでいます。9月18日、娘の引越があり出席できません。悪しからず。

田淵 五郎 (昭30営)

三商大戦(於一橋大)での再々延長戦ボロ、御苦労様でした。マスターズや市民大会、県民大会など今年的主要日程も終えました。タイムは年と共に少しずつ落ちて来ますが、泳ぐ回数は今年が最高です。8月には家内とアメリカ西海岸に旅行しましたが、余り時間がなく、

ホテルの小さなプールで泳ぐのが精一杯でした。

佐藤 一夫 (昭30法)

残念ながら出席できません。ご出席の皆さまによりしくお伝え下さい。

堂本 直正 (昭30工)

勝手ながら所用ありまして欠席させていただきます。ご出席の皆様には宜しく。現役の皆さんもお元気で。盛會を祈ります。

松田 司朗 (昭32法)

今年4月、パンパシフィック・ニュージーランド大会にて、100、200フリー、50mバックに入賞致しました。南十字星を見眺めて、2週間の旅でした。

高橋 靖周 (昭33経)

今春、卒業35周年の同窓會が神戸舞子であり、久しぶりに神戸を訪問しましたが、その変わり様に驚きました。しかし、わが懐き六甲台プールは相変わらずでしたので、少しガッカリすると共に、大いに安心いたしました。今年も月見の宴には出席できませんが、皆様によりしくお伝え下さい。心からご盛會をお祈りいたします。

山本 哲弘 (昭34営)

残念ながら今年も出席出来ません。皆様によりしくお伝え下さい。

柴川 泰介 (昭34経)

数年前から建設中だった兼松との合弁工場が昨年より稼働し始め、現在立上りの為ほとんど現地につめています。今後一年位は、同じようなことで顔出しも出来ません。申訳なし。諸先輩に宜しく。

永野 一彦 (昭35経)

博チン生活も3年余。プールにはあまり縁がありませんが、専ら下手なゴルフに興じています。出席出来ず残念です。皆様によりしくお伝え下さい。

井上 隆史 (昭37営)

皆様お元気で、ご活躍のことと思います。小職も不況の下、精一杯やっておりますが、なかなか泳ぎの手技をやって、年々タイムが遅くなり残念に思っております。

岡田 重義 (昭37営)

近くに居ながら社用に追われ、ご無沙汰ばかりで済みません。水の世界だけではなく、オフシーズンの間に暇を振り出し、若い情熱の一部をアカデミックな分野にも全力を挙げて挑戦して下さい。他国の大学生に負けない様、また将来に過悔を残さないよう燃えて下さい。卒業生の方、ご苦勞様でした。

高岡保宏（昭37営）

ご案内ありがとうございます。当日、所用で出席出来ません。皆様によりしくお伝え下さい。
ご盛会をお祈り申し上げます。

米田啓祐（昭37教）

返事が遅れてすみません。1週間に1度、スイミングに行って泳ぐことを楽しみにしています。

鈴木剛弘（昭38営）

9/21付で沖電気工業㈱からNTTインテリジェント・テクノロジー㈱へ出向するすることになりました。引続きよろしく。

林 荘八郎（昭38経）

三商大戦の応援に30年ぶりに参りました。総合優勝を目の当たりにし、大変嬉しく思いました。月見の宴も卒業以来参加したことがなく残念に思っていますが、近いうちに是非参加したいと思っています。

武政英幸（昭39営）

遠方に転勤し、残念ですが今年も参加できません。裏日本でプールの水に親しんでおります。

安茂 弘（昭39工）

予定がありまして出席出来ません。マスターズ大会めざして、バタフライの練習を始めました。

鈴木正弥（昭39経）

8/15（日）久しぶりに三商大戦の応援に行ってきましたが、試合の雰囲気は昔のような悲壮感はなく、和気藹々といった感じで、学生生活をエンジョイしているなあと思われました。市大チームの、我々OBに対する礼儀正しきや、応援のチームのまとまりが印象的でした。我が神大チームには、見習うべき点があるように思います。

前田和秀（昭40法）

8月21～30日、アメリカ、カナダへ行ってきました。不景気といいながら、アメリカの活力物価の安さに驚かされました。又カナダでは、キングサーモンを釣って日本へ持ち帰りましたが、残念ながら海で泳ぐチャンスはあったのですが、水が冷たく、皆から止められ、プールで我慢しました。御出席の皆様によりしく。

中畑勝明（昭41営）

4月に勤務先の会社が合併し、何かと慌ただしく過しておりましたが、漸く落ち着き、たまにプールへ行けるようになりました。

宮部 高博 (昭42文)

元気にやっています。ご存知の不況下ですが、東に西に毎日が随分忙しいです。

玉置 明 (昭45経)

週に1度は泳ぐ様になりました。月見の宴にも久しく出席しておりません。大変申し訳ございません。

得丸 哲士 (昭46農)

今年5月に独立し、㈱ブラジュニアンを設立して多忙な毎日を送っています。そのためスイミングクラブ(東急スポーツオアシス)での遊泳量も1回/週1,500mと急激に減りました。早く会社を落ちつかせて、元のペースに戻した遊泳を楽しみたいと思っています。

小林 育夫 (昭46工)

所用の為出席できません。楽しい会合になる事をお祈りします。現在、週1回ペースで水に慣れ親しむべく泳いでいます。しかしカロリー消費をオーバーして、体内に脂肪が蓄積されつつある今日此頃です。

井上 与志男 (昭47法)

冷たい夏もそろそろ終りを告げようとしています。地震、台風と天災が続き、異常気象の日本は、景気も異常な低迷を来たしています。小生、9月1日付で人事部より監査部に異動しました。環境の変化は、新しい気持を生むと同時に、多くの発見が出来るかと期待している今日この頃です。

藤井 元洋 (昭48教)

最近、健康のために週2回ほど水泳をするようになった。趣味で今、漆と陶芸とパラグライダーをしている。一度しかない人生、やりたいことを精一杯やって、悔のない人生にしなくちゃと、最近特に思う。(元号は、天皇が何年目ということ。やめてほしい。)

佐敷 定雄 (昭49農)

三商大戦、観戦しました。一軍の強いチームプレーを楽しみに見に行きましたが、何故か、4年生のプレーを見る事ができませんでした。残念です。対抗戦は、勝つ時には徹底的に相手をやっつけるのが礼儀だと思います。相手に対して手加減したり、又、反対に哀れみをうけるなどは、弱いチームだと思います。ともかく今シーズンも終わりました。反省と共に来年も戦力upして、大いに頑張りと、あばれて下さい。出席者の皆様によろしくお伝え下さい。

家本 博一 (昭50経)

今夏、7月中旬よりロシア、東欧に出張し、民営化の進捗状況について調査に参りました。8月下旬よりは、久しぶりの「先進国」への出張で、ニューヨーク、ボストンへ参ります。

ご盛會を祈念いたします。

中西 康之 (昭52工)

今年こそは、と考えておりましたが、当日は関係会社の労組支部発足会に出席する必要がある為、欠席させていただきます。

酒井 正人 (昭53農)

相変わらずマスターズ等の試合で現役を保っています。最近は何も出てきて、100個人に焦点をしばって練習をしています。当日は、5時半ごろにプールに行けるとは思いますが、小生の分け前も残しておいていただければ幸いです。

木下 修一 (昭53教)

当日は勤務の都合で月見の宴に参加できません。最近、ほとんど泳ぐことのない生活になっていますが、肥満、成人病防止のため早朝ランニングをやっています。

星合 正子 (昭53理)(旧姓 栗野)

10月に札幌に転居します。久しぶりにスキーを楽しみたいと思っています。

後藤 信人 (昭54営)

此の度は月見の宴の案内状を有難う存じました。何時もお世話になるばかりで申し訳ございません。お蔭様にて息子・信人及び家族も元気で過ごしている様です。早いもので台北市に長期出張で5年が経ちました。今年の秋の11月6日に其の任務を終え、日本国に帰国する様です。どうぞ今後共よろしく御指導の程お願い申し上げます。 後藤信人の母より

上田 剛弘 (昭56営)

凌泳総会の席上、「今年は必ず応援に行きます」と宣言したにもかかわらず、今年も一度も行けませんでした。せめて月見の宴は、と思っていたのですが、あいにく当日、北区にてアーバンリゾートフェア神戸'93 谷上歌舞伎なるイベントを開催することとなり、あえなく欠席となりました。ご盛會をお祈り申し上げます。

富岡 洋三 (昭57営)

体を壊してしまい、しばらくプールからは離れています。

土井 祐二 (昭55法)

土井 紀子 (昭57教)(旧姓 寺尾)

いつも色々とお手数をおかけして申し訳ありません。子供が3人いると、なかなか親の思う通りに動けなくて、参加できず、すみません。出席の皆様宜しくお伝え下さい。現役の方々のご活躍をお祈り申し上げます。

藤田 弥門 (昭57準)

当日は、5時半ごろに顔を出させていただきます。

長谷川 泰造 (昭59工)

現役当時と変わらぬ体重(体型)を保っておりますが、体力は、かなり落ちたような気がします。たまには温水プールに行つて泳ごうかな、と思つています。

山野 和則 (昭59農)

転勤後多忙のため、土・日もグターッとして、泳ぐどころではありません。

谷水利行 (昭59法)

9/22 世界の岡本綾子プロとラウンドすることになっています。忙しいです。

呉竹 正人 (昭59法)

今季はまったく不調で、もう冬に向けて走り込みに励んでいます。

浦野 敏明 (昭60営)

先日、誘われて沼津のトライアスロン駅伝に出場しました。ふらふらになりながら完走を果たしました。Swim 1km、Bike 28km、Run 10km ですが、まだ結構体力あるかな、と思つている今日このごろです。

楠戸 祐子 (昭60甲南女)(旧姓 平野)

主人の勤務先がまた変わり、今度は島根県になりました。昨年の夏、やっと福山へ変わったばかりなのに、また今年では、夏休みがいつも引越して終わることになり、きついばかりなので、ついに主人は単身赴任しました。母子家庭はそれなりに大変ですが、何とかやっています。皆様もお元気で。

坂田 純孝・芳子 (旧姓 織田)(昭60法)

当日は組合の執行部の仕事が入り、行けません。練習も思うようにできず、タイムは今一つですが、銀行間の試合には出ています。

松本 典子 (昭61教)(旧姓 木村)

申し訳ありませんが、欠席させていただきます。只今育休中、来年の1月から職場に復帰します。現役の皆様、来年も頑張って下さい。

黒川 良介 (昭61教)

先輩諸兄、後輩諸君、お元気ですか。今夏のベストは、50背35-0(長)でした。いかんともし難い不況をよそに、元気に泳ぎまくっております。ゴルフは、一向にうまくなりません。

近藤 直明 (昭63営)

先日、大阪プールで行われた全国実業団に初めて参加、同窓会のような雰囲気、いい経験

となりました(タイムは別)。10月には、マスターズに6年振りに1500 Fr を泳ぎます。

木下 憲 臣 (昭63教)

この夏、初めて“入院”しました。急性肝炎だったので、宴と名のつく催しものから、しばらく離れなければなりません。また10月頭に第1子が生まれる予定なので、今回は欠席させて頂きます。ご盛会を祈ります。

中 塚 泰 弘 (昭63農)

元気です。

岡 崎 景 子 (平1教)(旧性 川上)

もうすぐ育児休暇が終わると思うと、気が重いこの頃です。ずっと子供のそばにいたい気持ちと、働き続けたい気持ちが複雑に入りまじっています。家事と育児と仕事の両立は、厳しそー//

奥 村 直 樹 (平1経)

4回生の皆さん、お疲れ様でした。また本年は、水球面の大活躍との事、OBとしてもうれしく思います。最近Yacht に凝っております。まだまだ初心者ではありますが……。月見の宴、当日は出張(Pakistan)の為、残念ながら出席できません。盛会を祈ります。

郡 幸 雄 (平1工)

4回生、1年間ご苦労様でした。

植 松 忠 士 (平2工)

7月から所属が変わり、ようやく精神状態が落ちついてきた今日この頃です。長らくご無沙汰してるので、今回は何とか都合をつけて参加したいと思ってます(そろそろみんなに忘れられそうで……)。

村 田 功 (平2営)

7月より名古屋に転勤になりました。今年はそのようなこともあって、あまり泳いでいません。水球の試合を大阪と名古屋で観戦させてもらいました。後輩のみなさん、御苦労様でした。またすばらしい試合を見せて下さい。

林 均 (平2工)

昨年10月に子供(男)ができて、かわいくて、かわいくて、親バカしてる毎日です。

枝 沢 百合子 (平3教)

講師をしながら翻訳の勉強をしておりますが、まだまだ自分の英語力では商品にはなりません。水泳でも英語でも、上達するためには相当のネバリ強さが必要だと思います。現役の皆さん、頑張ってください。

加藤 有道 (平4教)

事務局の皆さん、お世話になっています。なかなかtelもして来ませんが、元気に過ごしています。(父)

飯田 正子 (平4松蔭女短)

みなさん、お疲れ様でした。今シーズンは一度も試合を見に行けませんでした……。当日は仕事の都合により欠席させていただきます。皆様どうぞよろしくお伝え下さい。

富村 英三 (平5営)

現役の皆さん、今シーズンお疲れ様でした。4年生の方、本当にお疲れ様でした。追コンぐらいは顔を出そうかと思っております。

魚住 香子 (平5神戸女学院)

関ボロ、優勝おめでとございます！ 今だに学生なので、もう少し試合など顔を出せるかと思っていたのですが……。

01-01	1	0000	01-01	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-02	1	0000	01-02	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-03	1	0000	01-03	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-04	1	0000	01-04	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-05	1	0000	01-05	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-06	1	0000	01-06	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-07	1	0000	01-07	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-08	1	0000	01-08	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-09	1	0000	01-09	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-10	1	0000	01-10	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-11	1	0000	01-11	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-12	1	0000	01-12	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-13	1	0000	01-13	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-14	1	0000	01-14	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-15	1	0000	01-15	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-16	1	0000	01-16	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-17	1	0000	01-17	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-18	1	0000	01-18	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-19	1	0000	01-19	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-20	1	0000	01-20	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-21	1	0000	01-21	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-22	1	0000	01-22	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-23	1	0000	01-23	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-24	1	0000	01-24	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-25	1	0000	01-25	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-26	1	0000	01-26	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-27	1	0000	01-27	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-28	1	0000	01-28	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-29	1	0000	01-29	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-30	1	0000	01-30	1	0000	+00	(000) 関五国小
01-31	1	0000	01-31	1	0000	+00	(000) 関五国小



マスターズ コーナー

(昭46理) 岩切 博

1993年度 日本マスターズ短水路大会 成績

全国17会場で開催され、関東勢は3会場、関西勢は4会場に出場し、下記の成績を収めた。

◎神戸会場 4.18.(日) 会場:NASポートピア

氏名(卒年)	区分	種目	順	タイム	種目	順	タイム
古賀克己(昭11)	80+	50自	2	45-28	25背	3	25-61
三宅 林(昭21)	70+	50平	1	46-90	100平	1	1-49-32
石井義章(昭27)	60+	50平	4	51-41	100平	1	1-57-64
岡沢幹夫(昭29)	60+	50自	1	31-94	50蝶	1	36-79
武政英幸(昭39)	50+	25背	1	17-65	100個メ	3	1-20-39
酒井正人(昭53)	35+	100個メ	1	1-11-23			

◎埼玉会場 4.25.(日) 会場:アテナアクアメイツ

田淵五郎(昭30)	60+	25背	1	17-39	50背	1	38-53
岩切 博(昭46)	45+	100平	3	1-29-02	100個メ	1	1-23-40
佐敷定雄(昭49)	40+	100自	1	1-02-89	50蝶	1	29-43

◎神奈川会場 4.29.(日) 会場:NECグリーンスイミングSS

小山賢之助(昭7)	80+	25平	1	27-56	50平	1	1-05-53
-----------	-----	-----	---	-------	-----	---	---------

◎大阪会場 4.29.(日) 会場:大阪水泳学校 長吉校

安茂 弘(昭39)	50+	50平	1	41-40	100平	3	1-34-33
-----------	-----	-----	---	-------	------	---	---------

◎京都会場 5.16.(日) 会場:京都両洋高校

武政英幸(昭39)	50+	50蝶	1	34-10	200個メ	2	3-02-89
-----------	-----	-----	---	-------	-------	---	---------

◎国立会場 5.16.(日) 会場:スイムスクーNAS国立

浦野敏明(昭60)	30+	50平	2	36-92	100個メ	2	1-14-08
-----------	-----	-----	---	-------	-------	---	---------

◎東京会場 5.16.(日) 会場:江戸川スポーツセンター

田淵五郎(昭30)	60+	100背	1	1-25-63			
前田和秀(昭40)	50+	25背	5	19-12	50背	5	43-56
岩切 博(昭46)	45+	25蝶	4	15-59	100蝶	1	1-24-03
太田雅彦(昭58)	30+	50背	2	39-61	100背	5	1-19-61
呉竹正人(昭59)	30+	100自	11	1-07-23	50背	6	36-57
凌泳会(田淵、岩切、太田、呉竹)	160+			男子100mトール	5	1-02-95	

◎宝塚会場 5.23.(日) 会場:宝塚チポリビーパークラブ

古賀克己(昭11)	80+	25自	2	20-14	50背	1	58-20
三宅 林(昭21)	70+	200平	2	4-02-11	25平	1	20-09
岡沢幹夫(昭29)	60+	25自	1	14-06	25蝶	1	15-85
田淵五郎(昭30)	60+	200背	1	3-09-20			
武政英幸(昭39)	50+	200自	5	2-50-74	25蝶	3	15-51
安茂 弘(昭39)	50+	25平	3	17-86	200平	6	3-29-50

ジャパンマスターズ'93 (長水路大会) 成績

今年は久しぶりに東京・代々木オリンピックプールでの開催となったため史上最高、約5800名の参加者があり、凌泳会からも他クラブからの出場者も含めて13名が参加し、下記の成績を収めた。3日目には健闘を祝して懇親会を開いた。

開催日 7.15~18 会場：代々木オリンピックプール

氏名 (卒年)	区分	種目	順	タイム	種目	順	タイム
小山賢之助(昭7)	80+	50平	2	1-02-47	100平	1	2-42-78
古賀克己(昭11)	80+	50自	5	45-76	50背	2	56-19
三宅 林(昭21)	70+	50平	3	45-23	100平	2	1-46-60
		200平	3	4-05-07			
岡沢幹夫(昭29)	60+	50自	8	32-42	50蝶	8	37-99
田淵五郎(昭30)	60+	50背	2	38-77	100背	4	1-26-95
井上隆史(昭37)	50+	50背	15	40-25	100背	9	1-29-87
安茂 弘(昭39)	50+	200平	15	3-30-80	100平	26	1-36-98
阿部洋三(昭42)	45+	50蝶	10	34-89	100蝶	2	1-21-41
岩切 博(昭46)	45+	50平	19	39-66	100平	12	1-28-80
		50蝶	13	35-13	100蝶	3	1-23-71
佐敷定雄(昭49)	40+	100自	5	1-04-65	200自	2	2-26-08
		50蝶	2	29-91	100蝶	2	1-10-57
呉竹正人(昭59)	30+	200自	7	2-36-92			
浦野敏明(昭60)	30+	100平	13	1-26-00			
近藤直明(昭63)	25+	50自	58	28-74	200自	15	2-29-17
凌泳会 (田淵、三宅、岡沢、井上)	240+			男子200mトレーラー	2	2-35-53	

(註) 小山賢之助氏はオアフクラブより、阿部洋三氏はYMCAより、佐敷定雄氏は柏洋スイマーズより、近藤直明氏は日商岩井より出場。

'93 レインボーカップ マスターズ 成績

昨年初めて開催されたこの大会には、今年はライフスポーツフェスタと同時に開催さ、凌泳会から4名の参加者があり下記の成績を収めた。

開催日	9.24~26			会場：名古屋市レインボープール			
氏名 (卒年)	区分	種目	順	タイム	種目	順	タイム
岡沢幹夫(昭29)	60+	50自	3	31-67	50蝶	3	35-89
井上隆史(昭37)	50+	50背	5	39-91	100背	4	1-30-23
岩切 博(昭46)	45+	200平	2	3-13-09	200蝶	3	3-06-61
佐敷定雄(昭49)	40+	50自	11	29-16	100自	5	1-05-87
		50蝶	1	29-67	100蝶	1	1-11-05

小山賢之助氏 世界10傑に入賞

当会名誉顧問、小山賢之助氏は'92年度世界10傑の80+短水路50m平泳ぎの部で6位に入賞されました、ここに御報告し、お慶び申し上げます。

1993年日本マスターズ短水路大会10傑 入賞者

4月から5月にかけて全国17会場に於いて開催された短水路大会全参加者の成績集計の結果、各種目10傑が発表されました。凌泳会からは下記の方々が入賞されましたので、ここに御報告し、お慶び申し上げます。

氏名 (卒年)	区分	種目	順	タイム	種目	順	タイム
小山賢之助(昭7)	80+	25平	2	27-59	50平	1	1-05-53
古賀克己(昭11)	80+	25自	6	20-14	50自	4	45-28
		25背	6	25-61	50背	2	58-20
三宅 林(昭21)	70+	25平	1	20-09	50平	3	46-90
		100平	4	1-49-32	200平	2	4-02-11
岡沢幹夫(昭29)	60+	25自	8	14-06	50自	8	31-94
		25蝶	4	15-85	50蝶	7	36-79
田淵五郎(昭30)	60+	25背	2	17-39	50背	3	38-53
		100背	3	1-25-63	200背	1	3-09-20
武政英幸(昭39)	50+	200個メ	3	3-02-89			
安茂 弘(昭39)	50+	200平	6	3-29-50			
岩切 博(昭46)	45+	100蝶	6	1-24-03			
佐敷定雄(昭49)	40+	100自	6	1-02-89	50蝶	1	29-43
酒井正人(昭53)	35+	100個メ	8	1-11-23			

マスターズ水泳協会へのお誘い

本協会をご承知の通り、5才刻みの年齢区分でレースを行う全国組織ですが、タイムを競うよりも健康増進のため、生涯スポーツとして水泳を楽しもうとするものです。凌泳会からも41名の方が登録を済ませ前述の通り活発に活動されております。

当会の世話役は岩切 博君(昭46)にやって頂いておりますので加盟ご希望の方は連絡をとって下さい。(石井 記)

現役部員寄稿

水泳部における自己実現

主将 門 謙次

A. H. マズローは、人間を、単なる生存を保つための生理的欲求や緊張解消にのみ動機づけられて行動する「生きている」存在として捉えるのではなく、環境との相互交渉によって、積極的に自らの可能性に挑戦していく「生きていく」といった力動的な存在として捉えている。それは、自己実現を果たそうとする存在、ということになる。

自己実現の欲求は、人間の潜在可能性を実現しようとするものであり、その欲求が満たされると、更なる自己実現へ向けて次々と高い欲求が生じてくる。そのため、自分自身の内的充実によってのみにしか満足を感じる事が出来ない。

これは、大学における運動部活動にも当てはめることができる。

運動部員の多くは、マスプロ化した大学の中でクラブに人間性の解放の場を求め、試合の勝利、あるいは活動行為というクラブの共通目標を目指して、技術の向上、体力の養成、心身の鍛錬等によって、自己の向上を目指そうとしている。そうすることが、彼らにとって自己実現を果たすことになるのである。

では、自己実現の場である、部自体からこの問題について考えてみる。すると部にとっては、こういった部員の主体的な部活動への参加が、より部を発展させ、部員に対して自己実現しやすい環境を提供することになる。また、他に部員の意見を聞き、意志の統一を図りながら、部を動かし方向づけるリーダーの存在も、部活動発展においては重要な役割を果たすと思われる。これを、われわれの水泳部において考えると、そのリーダーシップを発揮するのは主将である、わたしであり、幹部学年なのである。

では水泳部をまとめていく上で、主将であるわたしが、水泳部員一人一人に対して、覚えておいてもらいたいことがある。それは、自己の可能性に挑戦する人間であると同時に、他者にも開かれた存在であってほしい、ということである。自己への理想を目指すとは、利己的な意味ではなく、愛他的で、献身的で、社会的なものである。それらをふまえた上で、真剣に勝負にこだわり、勝ってはうれし涙を流し、負けては悔し涙を流すといったような、今しかできない学生スポーツ、水泳部活動を精一杯頑張ることにより、各個人個人において自己実現を果たしてほしい。そして、そうすることが、水泳部の発展につながるのだと、私は信じている。

信じよ！ さらば救われん！

栄光は常にわれらに！！

部員の心構え

主務 竹田 匡志

みな水泳部を好いている。開始時間が近くなると1人また1人と集まってくる。そして時間になると練習を開始する。授業がありその時間に来れない者は、授業が終わってからやって来て各々練習する。楽しい雰囲気だ。

しかし、水泳部は水泳好きの単なる集まりではない。共通した目標に向かって一致団結して活動する組織である。そのために皆がそれぞれ練習に励む。水泳部としてそれは当然のことだ。しかしそれだけではいけないのである。では何をせねばならないのか、わかりきったことだ、仕事である。組織に課せられる数多くの仕事を処理していかねばならないのである。組織をうまく機能させるには必要不可欠なのである。ある者が放棄した仕事は結局他の者がしなければならぬのである。このようなことは部内に歪みを生む可能性がある。楽しいクラブであり続けるためにも仕事は責任を持って成しとげてほしい。

WE LOVE SWIMMING

競泳主任 上田 純也

私は泳ぐことが好きだ。ただそれだけだ。泳ぐことが好きだから、誰よりも速く泳ぎたい。上手く泳ぎたい。その為の努力はつらい。苦しい。でも目標があるから、成果を信じているから、乗り越えられるはず。多少の単位や、投資は何とも思わない。速くなれるなら。

私は神大水泳部が好きだ。先輩、同輩、後輩、汚いプール、ボロい部室もみんな好きだ。だから、我々が全員一丸となって闘いに勝利することが、私の目標であり、水泳部の目標でもあると思う。俺は素質がないんだと言う者。私は初心者だからと割り切る者。追いかけて来る者がいなくて安心して居る者。もっと自分の可能性を信じよう。そして努力を重ねよう。初心者は、経験者をおびやかす。二番手の者は一番手の座を狙う。一番手の者は他の者を突き放し、さらに上を目指す。絶え間のない、苦しい努力が必要である。しかし、信じればできる。必ずできる。泳ぐことが好きだから。苦しければ苦しいほど、大きな喜びに変わるはずだ。みんなで努力すれば苦しみも少しは紛れる。全員でがんばろう。そしてみんなで勝利をつかみとろう。

「可能性」

水球主任 高橋 一弘

水球は経験者が多いチームが最終的に勝利の二文字にたどり着くのであろうか。近年各校とも経験者が増え、下馬評でも経験者で固めたチームが上位候補と口走られる。

僕はそうは思わない。むしろ新しく始める者達の成長力に未知の魅力を感じるのである。確かに水球というスポーツはゼロから始めて試合ができる能力に達するまでに時間を要するスポーツである。経験による判断力が勝敗を左右するケースも多い。だがそれらのほとんどはこの四年間で到達できるものと思う。運動能力に関しては全く見劣ることがないと思います。それゆえに未知の魅力というものを感じるのです。経験者にしても、インカレでは関東の壁をまた越えられなかったが、これもその時点での経験の差であると思う。

関ポロJr.では、後述にあるように五位に終わりチームの評価を大きく下げた。しかし、これはこの時点での順位である。この成長、可能性というものを信じて、関ポロまで練習をしてほしいと願うのである。個人個人への願いは、このプレーなら誰にも負けたくないというものを一人一人持ってほしい、ということである。そして自信を持って、関ポロにいどんでほしいと思います。



卒部の辞

(平6 経) 上山 敏正

平成2年4月に神戸大学水泳部に入部してから4年、短かった。そして私の大学時代は水泳部一色だったので、とても世間一般にいわゆる学生生活を謳歌したといえるものではない。しかしながら水泳部を通じて、他の大学生よりもたくさんを経験することができたと思う。水泳部での練習、試合、仕事、楽しかったこと、悩んだこと、すべてのことが私の今後の人生において影響をもたらすであろうし、その思考の源なるものを神戸大学水泳部で勉強できたことは、とても幸せである。

私は4年間、「練習のための練習」をしてきたと思う。練習をすれば結果は必ず伴ってくるというのが私の考え方であったので(試合の前は試合のための練習もしたが)、ひたすら練習だけをしていた。結果的に、競泳はあまり良い成績をだすことができず、水球に関しては周りの人についていくのが精一杯であったかもしれない(自分なりにベストを尽くしたが)。ただ私は、皆と一緒に練習しそして勝利に向かって一丸となってゆく、その雰囲気が好きだった。現役の皆さんは自分が今どのような練習をしているか考えてほしい。それがプロフェッショナル的な考え方、私のようなアマチュア的な考え方どちらでもかまわないと思う。その楽しさを水泳部を通じて得ることができればそれで最高ではないだろうか。

最後に、未熟な私を身体面・精神面において育てて下さった諸先輩方、そして心の支えとなった同輩諸君に厚く御礼を申し上げますとともに、神戸大学水泳部が今後ともますます発展していくことを期待し、私の卒部の辞とさせていただきます。

(平6 理) 木村 一也

高校から始めた水球も、いやもっといえば小学校から始めた水上競技も、ようやく区切りをつける時がきました(まだ泳ぐつもりではいますが・・・)。そこでふと考えてしまうのです。「何故水泳部にいるのだろう」って。けど、何てことはない。「楽しいから」。ただそれだけです。何が楽しかったのかといわれれば答えにくいのですが、皆とプールの中でバスしたり、シュートしたり、ゲームをするのが楽しかったのです。このチーム相手に、どこまでできるのか試してみるのが楽しかったのです。そのために苦しい練習をしても平気でした。結局「水球」が大好きだったのです。

ただ、水球も競泳もチームですもの。そこで水泳部に入部したのです。これがきっかけでした。「水球を楽しみたいから、水球が好きだから」、ただそれだけの理由です。とても単純ですが、これに優る理由はないでしょう。

あれから4年。もう卒部です。きっかけは各々違うでしょうが、経験者であれ、初心者であれ、水泳部にいる人達はどんな時でも水球が、競泳が、マネージャーが、何かが好きだと信じています。4年なんかあっという間です。だから、限られた時間の中で練習を、試合を、一つ一つのプレーを思いっきり楽しんで下さい。うちこめばそれだけ成果は上がるものです。

関西で、水球はこれから大きく変わっていくと思います。出場校が増え、二部制になり、レベルがかなり上がってきています。その中を勝ち進むことは容易ではありませんが、現役の人達はそんな逆境なんか気にせず、むしろそれを楽しんで下さい。現役諸君のこれからの活躍を期待しています。

また、試合がレベルアップするなら練習をするのは当然ですが、その環境のレベルをあげることも必須だと思います。これからはOBの方々にも、managementの面だけでなく、技術的な面でも御助力、アドバイスいただければと思います。

最後になりますが、わがままな僕が水球をこれだけ充実できたのは、西尾をはじめとする同輩、一緒にプレーすることができた先輩方々、そして後輩のサポートがあったからこそでした。その感謝とともに、世話して下さった金監督をはじめとするOBの方々には厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

(平6 菅) 高倉 信之

僕が大学に入学し、水泳部に入ってからもう4年間に過ぎてしまいました。競泳、水球を含めて、たくさんの試合があったけど、今思い出されるのは、六甲台のプールでの練習だ。一緒に練習した仲間、タイムをとってくれるマネージャーのおかげで競泳をやることができた。決して、楽しいことばかりではなかったけれど、よかったと思います。ひとつかなしいことは、競泳が弱くなってしまったことだ。タイムが悪くなったわけではないけど、まわりのレベルアップについていってなかったのだろう。俺らはできる限りのことをしたんだと美談にしてしまうより、やっぱり結果を残したかった。後輩の皆さんは、よい結果を残せるように頑張ってください。

最後になりましたが、お世話をして下さったOBの方々、わがままを許してくれた同輩、僕を先輩と思ってくれた後輩の皆さん、どうもありがとうございました。これからも、水泳部を盛り上げて下さい。できたら、夏も冬も楽しく活気のある水泳部にして下さい。

(平6 経) 西尾 泰紀

幾人もの先輩方を送り出していった私も、とうとう4回生となり卒部の辞を書く順番が巡ってきました。これを書いている時点では卒業は不明ですが、なんとかなるでしょう。私もバカのままですが、晴れて社会人になることができそうです。しばしの間、思い出を振り返り徒然なるままに筆を走らせてみたいと思います。

偉大な先輩方に追いつきたくて努力した4年間でした。私が大学生になったときすでにOBだった方、上回生として指導して下さいました先輩方、本当にお世話になりました。ありがとうございます。私が単純だったからでしょうか、先輩方によくかわいがって頂いた恵まれた後輩でした。旧い先輩、新しい先輩に酒の席などで色々な話をうかがい、自分の世界が広がりました。やっぱり酒好きは得ですね。これからは凌泳会の一員として現役を支援していきたいと思います。私は、後輩達が情熱を持って水泳に打ち込み、堂々と“神戸大学体育会水泳部”の看板を背負って頑張っている限りは彼らを応援し続けます。今は不本意な成績でも、いつかは全国制覇を成し遂げると信じています。先輩方、長い目で応援していきましょう、よろしくお願ひします。

同輩達には迷惑ばかりかけていたと思います。こんな私を主将に推してくれて支えてくれた君達に改めて感謝します。我々は、同じ時間、輝かしい時を共有した仲間です。共に闘い、共に飲み、語り明かし、そして泣き、笑いました。共に議論し合い、神戸大学体育会水泳部というチームを作り上げました。二人寄れば、クラブをどうしようという話をよくしたというのが今の思い出です。我々は、一つのチームです。そして、君達は私の誇りです。いままでありがとう、これからもよろしく。

後輩達には、あまり良い先輩ではなかったと思います。よく怒っていた思い出が多いから。すべての道はローマに通ずとはよく言ったものですが、勝利の道は一つしかないのです。“No pain no gain.”努力です。速い人は、遅い人より努力しています。オリンピックに出る人などは、1日に1万も2万も泳いでいます。頭を使って努力しろ、とはよく言われます。でも、それはウソです。頭を使う前に努力するのは、努力してから頭を使うのです。意志ある所に道ありですが、意志だけで道が開けたら誰でも成功者です。強い意志と不断の努力、この二つによってのみ道は開けるのです。力を尽くして狭き門より入れ。滅びにいたる門は大きく、その道は広く、之より入る者おおし。生命にいたる門は狭く、その道は細く、之を見いだす者すくなし。何故？って考える前に努力を。努力したそのあとは、ケ・セラ・セラです。

私の周りには本物がありました。身の碎けるような苦しみ。自分を殺したくなるような悔しさ。互いに抱き合いたくなるような喜び。腹のねじ切れるような笑い。本物の感情、本物の人間が存在しました。やはり体育会がいい。体育会に入って良かった。私は、体育会水泳部に入ったからこそ本物にめぐりあえたと信じています。

愛する神戸大学体育会水泳部よ、永遠なれ。

追伸。私はいつまでも熱く燃えています。先輩方、同輩、後輩達も人生に疲れたら私と飲みましょう。私が熱くしてさしあげます。

(平6 経) 松島 英樹

水泳部での四年間はあっという間だった。十年もの間狭いプールで泳ぎ続け、黄色

いボールを追い続けてきたので、私の水球が終わってしまったことを、今とても寂しく感じている。

水泳部はいつも生活の中心だった。練習も一生懸命やったが、用がないときでも部室に行けば水泳の好きな仲間がいて、そんな奴らと水泳について語ったり、バカなことをやったり、麻雀したりするのが好きだった。酒を飲んで暴れることや、かっぱの棒棒鶏の味を教えてくれたのも水泳部だった。

競技者として頂上を極めたわけではないが、神大が関ボロを二連覇し、その中でスタメンとしての役割を果たせたことには満足しているし、誇りを持っている。また、それらのことを通して自分に自身が持てるようになった。

最後に、お世話になった偉大な先輩方、妙に気の合う同輩達、バカだがかわいい後輩の奴ら、そして、これらの素晴らしい出会いと、かけがえのない体験を与えてくれた水泳部と水球に感謝したい。どうもありがとうございました。

(平6 経) 山田 基洋

神大水泳部での4年間を振り返る時がとうとうやってきたが、私は単純で鈍いのか知らないが、「しんどかった」とか「悔しかった」とかいう記憶はもはや薄れかかっており、「楽しかった」という思いに今は支配されている。ただ、入部当時から先輩方のパワー(私生活も含めて)に圧倒され、「俺もいつかは・・・」と思い続けてきたものの、精神的には幼稚なまま幹部になってしまったし、個人としてもチームとしてもやや情けない成績しか残せなかったのも、その辺の満足感というものはあまり得られていない。特に、フリーをやるからには100で1分を切って泳ぐことが一つの区切りであり、また一種のSTATUSでもあると常々思いこんでいた私は、それを実現できなかったことが一番残念だ。

でも、少々アブナイ体質を持った私は、自らディスタンスの道を選んだ。ハイになりながら黙々ときついメニューをこなし、夜中にもぞもぞ起き出してはスイマガやビデオを見てカーッと熱くなり、試合でわずかなベストを出して、心の中で実は大満足する。この繰り返しがいかに楽しかった(やっぱり変か?)。幹部になればチームを長い目で見ることもある程度必要だが、限られた4年間、一水泳人としては「今」をどれだけ工夫して楽しくやれるかが大事だと私は思う。後輩諸君も何らかの充実感、或いは満足感を求めて水泳部に来ているはずだから、その瞬間(過程も大切だが)に対して素直に食欲に向かって行ってほしい。これから来シーズンに思いを馳せることができるのが羨ましい限りです。

このおよそ4年間、神大水泳部を通じていろいろな人に出会い、石川県の田舎からやってきた私の存在を多くの人々が認めてくれました。わがままな私でしたが、何物にも代え難い同期のみんなと4年間を共にすることが出来ました。それが私の一番の財産です。

ありがとう。そしてこれからもよろしく・・・！

(平6 経) 吉岡 晋一

4年間、心掛けたことがあります。

- ・水球においては、手段を選ばない。
- ・酒を飲むときは、へどを吐くまで飲む。
- ・麻雀の負け分は、ぐちを言わずに払う。

中途半端は最悪であると考えている。一般学生の決して分かり得ない体育会、それも水泳部で、生活の全てが動いていたのであるけれど、ふりかえてみて、不思議と未練など全くなく、晴れ晴れした自分を少し誇りに思っています。ここまで楽しく、充実してやってこれたのも、まわりの人間が“尊敬すべき”バカ連中であつたからだということは言を待たない。

体育会である以上、結果がついてまわる。競技者としての自分は、おせじにも成績が良かったとはいいがたく、試合に出ることができず、悔しい思いをしたときにも、顔にそれを出したら負けと考え、「今に見てろ」と日々努めてきたとの自負がある。たいした練習もせず、(過去には多少したのかもしれないが)試合に出て、適当にその場をごまかすような人間を、自分は信じない。水泳部には黙々と練習に励んでいる人間がたくさんいる。そういう人間にこそ共感を覚える。

偉そうなことを書きましたが、今となっては後輩諸君にメシをおごることくらいしかできなくなっていました。“今”という時間は二度と繰り返せません。最後に、一度は言ってみようと思っていたが、結局いうことができなかった練習後のエールをもって今後の水泳部の健闘を祈りたい。「神大、ファイト、ファイト、ファイト!!!」

(平6 松陰) 上村 麻由美

大学に入って4年間、何をやってきたのかと考えてみて、思いつくのが“クラブ活動”です。

4年前、大学に入学した時、私は水泳部(しかも体育会系)に入部しようなんて考えてもみませんでした。大学に入ったら、サークルに入って、合コンして…普通の女子大生をするつもりでした。それが5月の雨が降る日、神戸大学水泳部の門を叩いていたのです。入部した頃は驚く事ばかりでした。お風呂、パワゼン、自己紹介…。そのうち、そういった驚きが楽しくなって、居心地がよくなってきて、こうして卒部の辞を書くまでになりました。

アツという間に過ぎていった4年間。その間には楽しい事、つらかった事、学んだ事、色々ありました。4年前、もし水泳部に入部せず、普通の女子大生として大学生活を送っていたら、経験できない事ばかりでした。私にとって水泳部で過ごした4年間は、今までの私の生活の中で、少し異質な、そしてとても重要な時間であつたよ

うに思います。

他大学から突然入部してきた私を、暖かく迎え入れてくれ、多くの思い出を与えてくれた神戸大学体育会水泳部と諸先輩方、同輩、後輩の皆様方に感謝します。本当にありがとうございました。今後の皆さんの御活躍を期待しています。

(平6 神女葉) 北 知寿子

高校まで、がむしゃらに泳いできました。そのころの私は、水泳の本当の楽しさを知らないまま、ただ、勝つために泳いでました。

高3の時、何のために泳ぐのか、自分を見失ってきて、一番大事な試合で負けてしまいました。しかし、負けたことで、勝ったときの本当の喜び、水泳の本当の楽しさを知ることができました。でも、時すでに遅し、それは引退試合の時でした。

私の大学には水泳部がなかったので、私は、本当の楽しさを味わうことなく水泳競技生活を終わってしまうところでした。そんなとき、神大水泳部が私にチャンスを与えてくれました。

大学での‘水泳’は、今までとは全く違う世界でした。酒、コンパ、自己紹介…とまどうことばかりでした。しかし、この違う世界で出会った仲間達に支えられて、私の水泳生活は、新しい一步を踏み出しました。水泳の本当の楽しさを知ったことにより、苦しい練習を自分からすすんでこなすことができ、良い時も悪い時も、それによって得られた成果は、本当の喜びを感じさせてくれました。高校までのただの水泳生活に、大学での4年間を重ねたことで、私の長い水泳生活は大変有意義なものとなりました。私は、この経験をステップに、これから社会に出て、頑張っていくと思えます。

最後になりましたが、お世話になった先輩、頼もしい後輩達、そして何よりも誇れる同輩達は、一生の宝物です。本当にありがとうございました。

また、私に素晴らしい学生生活を与えてくれた、神戸大学水泳部に感謝の意を表するとともに、皆様の今後の活躍をお祈りします。

(平6 文) 武田 直子

アップに選手が飛び込んだ後、今までの騒がしさとは違って変わって静けさがやってきて、パークロとプールを交互に見つめながら、寄ってくる蚊を払う。一面が25のターンをして、その豪快な水しぶきを確認すると、今度は両手のウォッチに目を移して、頭の中で今日のメニューを繰り返す。日焼けを気にして帽子をかぶり直し、そろそろ掃除しなくちゃいけない部室と、ポロ面が顔を覗かしているお風呂と、やっぱり緑なプールとに囲まれて、ちょうどかえってきた選手に「セイ」の一言をかける。

不思議なことに、水泳部でまず思い浮かぶのはこうした光景で、ただもうずっと前のことのように思うけれど、いまなお自分の部屋に残っている日焼け止めに、水泳

部に存在したことを感じています。

水泳というスポーツが、大好きでした。

優しかった先輩に、可愛い後輩に、そして頼もしい同輩に心から感謝します。ありがとうございました。今後の「神戸大学体育会水泳部」の活躍を期待しています。

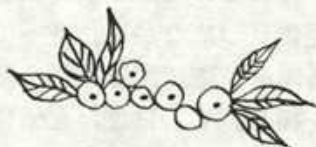
(平6 発) 伊藤 真里子

私の神大水泳部員としての期限は1年しかなかった。これは特殊な課程をとっているためだが、実は3年間短大を経てからの入部である。このため私は初々しくないらしい。

さらに私はふてぶてしいらしい。何故なら1回生にまざって18才として生活していたからだそうだ。

つけくわえて、私は無謀者らしい。何故なら体力の限界を感じているにもかかわらず、水球と競泳をしたからだそうだ。

他人がどういおうと私にとって神大水泳部は大切なところだ。初めてプールをみた感動、スタート台に立つ緊張感、水しぶき、ボール・・・すべての瞬間を忘れることはけっしてないだろう。



現役部員紹介

毎度おなじみ2回生による現役部員紹介です。

(4回生)

上田 純也(経・自・加古川東高)彼は我等神大水泳部の競泳主任でおわせられる。ダビという愛称をもつ彼はカラオケ名人である。彼の歌声をきいてコロッといった女性数は数知れない。そんな彼のファンのために学祭では「ダビ'Sコンサート」が行われ、大反響を呼んだ。さすが主任!!人間を引きつける魅力は抜群だ。彼は一見誠実そうに見えるのだが、お酒を飲むとなぜかいつも彼の両脇には女が…。彼も男なのだ。しかし普段は水泳に熱意を燃やす立派な”SWIMMER”。彼のフリーの速いこと。水泳にスピード違反なるものがもし存在していたらとっくにつかまっていたことだろう。主任として、今年一年大変だと思うが、ぜひ頑張っていたきたい。彼の活躍が今後楽しみである。

門 謙次(教・水球・茨木高)彼はでかい。とにかくでかい。体がでかいのはともかくとして顔は常人の3倍はかるく超し、さらに「ガハハハ」という笑い声のでかさはジェット機なみである。飛行機の近くでバイトをしている彼は、毎日そこでジェット機の爆音と彼のガハハ笑いで音の大きさを勝負し、10回に7回は勝つという恐ろしい声の持ち主である。うわさによると、彼は生まれた時「ガハハハ」と笑って生まれてきたそうである。今年も昨年神大を優勝にみちびいたスケールの大きな水球をみせてもらいたいものである。また主将として水泳部を率いて頑張ってもらおう。

高橋 一弘(理・水球・鳥羽高)彼は水球主任であり、唯一の外国人選手でもある。その名は”パンチョ”。しかし、彼は日本語が非常に堪能で、落研顔負けのその特徴のある声でスピード感あふれるおしゃべりを繰り広げるのである。そのくせ多くの部員を前にして話すのは苦手らしく彼のつぶらな瞳は、まさに泳ぎだしフラフラと空をさまようのだ。が、ひとたびプールに入ると、誰が見ても一生懸命なんだと分かる腕の回転の速いフロントで泳ぎ、キーパーの脇の下をぬくお得意のシュートをきめてくれる。そんな彼だから、関ボロ三連覇めざして主任の力を目一杯に発揮してくれるだろう。

竹田 匡志(経・蝶・畝傍高)彼の家は”バラ邸二号館”。マーじゃんやファミコンにと昼も夜も男の来客が絶えない。そして、竹田の”タ”はたむしの”タ”、竹田の”ケ”はケムシの”ケ”、竹田の”ダ”はダニの”ダ”というほどの虫好きである彼は多数の虫を飼っている。今年も虫の力を借り、ムシムシした真夏のプールで大活

躍してくれるに違いない。

長谷川 哲也（農・水球・茨木高）彼はパチンコ、競馬で生計をたてる根っからのギャンブラーである。もちろんバイトなどという地道なことはしない。あの時給の高い家庭教師ですら彼にとっては割の悪いしごとらしい。そして彼は今日もパチンコにはげむのだ。そのためかプールで彼の姿を見ることは少ない。にもかかわらず彼は水球がうまい。もちろんわがチームのレギュラーである。だからこそ今年もっと練習をしていい汗を流して、我々を関ボロ3連覇へと導いてほしいと思っているのは私だけではないはずだ。

藤川 壮太（法・水球・茨木高）アメリカ留学経験を持つ彼は英語がペラペラなのはもちろん、理論だてた話はどんな人をもうならせるほどにたけている。そのため、彼にかかってはむちゃくちゃな話でさえもっともらしく聞こえるのは不思議なものである。また言いたいことをさくっと理論だてて言ってくれるのは水泳部にとってプラスになるのではないだろうか。今年正ゴールキーパーとして神大ゴールを守ってほしい。

渡辺 雅人（工・水球・広島学院高）彼は速い。泳ぎも速く（ただし短距離）、シュートも速く、バイクも速い。あまりの速さに後部座席に座った2回生Iはヘチョってしまった。また、楽しいことが大好きであるが、上新庄まで定期を購入して通うという堅実な面も持ち合わせている。その甘いマスクとうらはらに、練習中の厳しさ、試合中の闘志は並外れたものがある。彼にとっては最後のシーズンとなるが、そのスピードを活かしてわがチームを勝利に導いてくれることを信じて疑わない。

小笠原 恭子（営・自・西尾高）サム子の愛称で親しまれている彼女は下宿を留守にすることが多い。なぜかって？それはおいといて、彼女は小柄な割には酒が強くコンパの際には私はいつも彼女にとどめを刺されてぶっ倒されてしまうのです。又その小柄な体からは想像できないくらい泳ぐのが速く、今年も2部昇格した女子をひっぱっていってくれるだろう。

斉藤 雅子（教・自・宝塚東高）一見おっとりしていてもお嬢様っぽいところもあるが、実はしっかりしてて頼れる先輩だ。でも、最近一人暮らしを始め、一緒に住んでくれる人を探しているらしい？下宿訪問で先輩に酒でつぶされるかわいい面も持っている。昨年は休部のためプールで泳ぐ姿はあまり見るができなかったが、今年は勇姿を見せてくれるだろう。

寺井 美穂子（文・蝶・石山高）思わず手を合わせて拝みたくってしまう仏様の
ような端正な顔をしている彼女は、バタフライをはじめどんな種目も泳ぎこなし、向
かうところ敵なしである。又、未だ転んだ事のない、しかしスピード違反で罰金を取
られた事はある原チャを乗り回し、部員の下宿に頻繁に出没し、思う存分楽しんで帰
って行くのだ。そんな彼女も下宿を変え、より自由の身になったので彼女の下宿で毎
晩のようにCrazy Nightが行われるようになるのではないかといささか心
配である。こうして皆から集めた信頼と、後輩のめんどろ見の良さにより、彼女は影
の主将ともいえるほどの権力を握り、皆から寺井姉さんと呼ばれて従われ、いや親し
まれているのである。

（3回生）

磯山 正則（法・自・大安寺高）一見おとなしそうに見える彼はとてもシャイな好
青年である。以前は下宿の湿気がひどく心まで湿っぽかったが、最近入手した空気清
浄機のおかげでお部屋もカラッとスッキリ心も晴々絶好調。後輩の面倒見もたいへん
良い。優しすぎるのが壁に傷だが、競泳の主力として自信を持って活躍してもらいた
い。

井上 泰宏（法・水球・宮崎南高）He is" B O N B O N" . 宮崎出身のお
ぼっちゃまは、家賃8万円の夜景がキレイなマンションに住む。しかしなぜか財布の
中身は小銭ばかりだ。また、長期にわたって姿をくらます事がある。体が弱くかなか
復活しないのが彼の弱点なのだ。そんな事を吹き飛ばすがごとく、水球に対する情
熱は熱い。球技センスを活かし、チームを引っ張っていく事はまちがいないだろう。

河原 知成（経・自・英国立教学院）一見真面目そうに見える彼だが実はヘビメタ
大好き人間である。酔うとヘビメタのように暴れだす。暴れだすが最後、後輩をつぶ
し始める。たまに自滅することもあるが。また"アキラ"という異名を持つ彼は国際
派なのだ。普段の会話でもさりげなく英語がボンボンと飛び出す。その教養あふれる
頭脳と持ち前のスピードと確実な仕事ぶりは水泳部にとってはなくてはならないもの
だ。

北中 宏一（農・個・三国丘高）誰も彼ほどの働きはできない。神大の顔といっ
ても過言ではない。そう、彼は学連なのだ。神大の影のエース？なのである。試合でク
ラブのために働き、ミスドの余ったドーナッツをクラブのために持って来てくれるあ
りがたき先輩なのだ。最近SRを手に入れパワーアップをはたしたそうだが、顔が大
きくなったなあと感じるのは私だけだろうか。

小柳 勝義（農・水球・茨木高）「小柳」と書いて「策師」と読むのは水泳部の常識らしい。一見無表情のうらには「世界征服」という生まれてからずっと抱いている野望がかくれている。そのてはじめとして「日本舞踊」をマスターし、世界中の占いをも網羅している。一見「世界征服」とまったく関係なさそうなところが世界をあざむくための彼のおそろしいところである。目的の次のステップとして「水球」を黙々とこなしている彼は、今年の水球で重要な役目をはたしてくれると思われる。

鈴木 健太郎（工・水球・白陵高）神大水泳部暴走族の切り込み隊長である彼だが、勢い余って車に突っ込む事もしばしばだ。その度に不死鳥のようによみがえる彼とそのバイクにある人は”フェニックスSPADA”とつぶやいたそう。また、日に日に研ぎ澄まされるそのするどい目つきは、敵チームはおろか味方チームまでも恐怖におとし入れる。その切れ味でバシバシ点を決めて欲しい。人間的にも朝5時から夕方5時まで後輩のふとんの中で豪快に寝て日曜日をつぶさせる程大きいのだ。最近”つろう会”会長にもなり、アフタークラブでも実力を発揮してきている。また”珍井亭”連れて行って下さい。

宮崎 浩司（工・自長・高津高）彼はパンパンという。話した人すべては彼にとって親友である。その親友たちは彼のお腹を見ていつも感動している。昔はそうでもなかったと写真をみせていただくと、SlimでDANDYな彼が、女性2人にかこまれて満面の笑みで写っている。いつも携帯しているので、ほとんど全ての人が見た写真である。その片方の女性ととある試合でしゃべっていたが、非常にうれしそうな表情をしていた。又、彼はマクドナルドでバイトしている。あまり一生懸命仕事をしているためか、次の日は「昨日1回生がきてまいっちゃったよー」とうれしそうに話しておられたそう。ちなみに水球主任パンチョさんとはマクドナルド仲間—マクダチ—である。

安井 努（教・水球・東宇治高）こんにちは、「やさしい古典」の時間です。今日は照焼海午（仮名）本名 安井 努さんの句をよんでみましょう。

須磨物語

「須磨の浦 フェラーリとばし 9秒でいく」（字余り）

これはシャア・フェラにのった安井氏の須磨での9秒で終わってしまう悲しい恋をうたった句です。では本日はこのへんでさようなら。

池永 佳子（松陰・自・光塩学院高）松陰女子学院大学生にして池永商事の一人娘である彼女は正真正銘のお嬢様…のはずであるが、彼女のご食事の様子はお嬢様とは

思えないくらい速い。その現場を見た筆者の私は思わず、彼女の故郷の山口では昔食糧難でもあったのだろうかと思ったほどである。しかし本人いわく「ゆっくり食べると食べた気がしないのよね。」だそうです。あと、水泳の方も同じくらい速いので、今年も松陰水泳部主将としてがんばって下さい。

今村 美衣子（文・平・山城高）毎日、京都から神戸まで旅をしている彼女は、平泳ぎが得意な女の子である。冷たいプールでの練習では、毎日の2時間の旅から鍛えられたねばっこさでがんばっている。もちろんレースでのねばっこさもすごい。ゴキブリホイホイに入ったゴキブリもびっくりのねばっこさである。一見物静かそうに見える先輩ではあるが、同回生の間では一番キツイつっこみを入れると評判である。実は女子水泳部の影の総帥とのうわさも…

岡 晶子（文・マネージャー・同志社高）彼女は「京都の女」を絵に描いたような人である。「おっとり」「はんなり」という形容詞が似合っちゃったりする。マネージャーとしてもとてもがんばっていて、もう終わっているのに泳いでいるスイマーをとめるため25m全力疾走してくれる。でも、だいたいこの場合スイマーの方が正しくて、また25m全力疾走でもどってきってくれる熱心なマネージャーさんである。これからもよろしくおねがいしますね。

坂上 京子（営・マネージャー・茨木高）ちっちゃくってかわいい。おまけにとてもおもしろく、ときどきいきすぎてちょっとバカというのが彼女の特徴であろう。しかしちっちゃくってもパワーは絶大でコンバ、競泳、水球と何でもこなす。とくにコンバでは持ち前の明るさと子どものようなフェイスでもりあげてくれる。これからもそのままの彼女でがんばってほしい。今年から女子水球部ができ、彼女もはりきってくれるだろう。

立松 裕美（教・マネージャー・旭丘高）ケロケロケロケロケロ。おやっ？どこかで聞いたことのある声だなと思いプールの中から上を見上げると、そこにストップウォッチを持った彼女が立っている。クラブ内では一、二を争うちっちゃな彼女だが、パワフルな一面を持っており、コンバの席ではややたちの悪い時もある。しかし、呉服屋の娘というだけのことはあって、越えてはいけない一線をちゃんとわきまえている(?)。数少ないマネージャーとしてこれからもがんばっていただきたい。

(2回生)

諫山 大介（発・自、水球・四条畷高）とにかく歌がうまい。カラオケでこのひとの右にできるものがないくらいうまい。カラオケが超下手である自分から見ると天の

上にいるような人である。そんな彼は短距離を泳がせても超速い。水球でもその速さを活かしてどんどん上達している。今後も競泳、水球共にその速さで相手をけちらすような存在になってもらいたい。

大場 理世（工・背、水球・茨木高）誰がみても彼は大学生に見えない。お父さんなのだ。そんな彼にも最近いろいろあやしい噂がでまわっている。そんなことはさておき、彼は入部早々レギュラースタメンとなり関ポロ優勝に貢献した。彼の巨体から繰り出される豪快なプレーの数々は、これからの我がチームには欠かせないものである。そしてインカレでC大の主将をシバいたのも記憶に新しいところである。背泳を泳がせても速く、これからの水泳部の中心となることは間違いないだろう。

尾下 順治（工・個、水球・畷傍高）オシタくんにはシーチョというすてきなニックネームがあります。由来についての詳しいお話は省略しますが、どうもシーツに血がついてしまったことと関係があるようです。シーチョくんはバイクが大好きでとってもかっこいいバイクに乗っています。彼はとても礼儀正しいというか律儀なところがあって筆者の実家に来たときは気を遣って奈良名物柿の葉寿司をじさんすることもありました。シーチョくんには競泳メンのエースとしても水球メンとしても実力を発揮してもらおうとともに、単位のほうもしっかりととってもらいたい。

小堀 真樹（発達・蝶・神戸高）彼はなかなか学校に来ない。特に授業をよくさばるということで周りの人間を心配させているが、本人はそんなに心配した様子はない。そんな彼もプールの中に入れば別人のように飛ぶようなバタフライを泳ぐ。今年こそはしっかりと授業にでて、又、しっかりと泳いでどんどん得点をとってきてもらいたい。

瀧本 太平（営Ⅱ・個）見かけはちょっと恐いお兄さんだが、本当はちょっと変なお兄さんである。おまけに手ぐせも悪く、コンバ会場ではコップやなべや座布団まで全部カバンの中にしまい込み、3DKに家具は冷蔵庫しかないというガランとした部屋に持ち帰り並べている。しかしそんな彼ももうすぐ水泳部1、2を争う高額で夜景のきれいなマンションに引っ越しするそうだ。これからは手ぐせが悪いのは直るかも知れないが、女ぐせがよりいっそう悪くなるかも知れない。

中村 洋平（工・水球・広島学院高）彼は入部当初から名物部員として扱われてきたが、筆者は認めていない。でも彼のナニの大きさには思わず脱毛いや失礼、脱帽してしまう。

「ハンジくん寒いよー」「ほら触ってごらん」「キャー、熱っ熱いわぁ、ハンジく

ん。どうしてこんななの？」「こらこら」「ねえハンジくん、どうして丸坊主にしちゃったの？」「いやあー、床屋で短くしてくれいいよったらこんなななってしもうたんちゃ」「ねえ、どうしてハチ公なの？」「…」「ねえ、コンバの後どうして岡本まで行ったの？」「…い、いやあ、もうええちゃろ」彼はかわいそうに年末に肝臓を患ってしまい、最近ではハンジさにもさえが見られない。今後は彼の恋の行方と、先輩としての彼に期待が持てる。「汁も飲めよ！」

西野 茂（営Ⅱ・自、水球・神戸西高）彼は自宅生であって自宅生でない。ジブシ一下宿生なのだ。あまりに家に帰らないので親にポケベルを持たされたくらいだ。また、レスリング兵庫2位と異色の実績を持つ彼はその水泳部真っ青のマッコを使って水泳、私生活と大活躍であった。特に酒が入った時、男は彼に近寄ってはならない。近づいたが最後、握力70kgで腕をわずかみにされた男は数しれず、レスリング技で締められた人もいるらしい。その目に余る行動から様々なウワサが彼のまわりには起こる。あえて書く必要はないと思うが、早くみんなの水パン返してってところだ。ムッコのバイバイのバイー。

服部 陽宏（経・個、水球・旭丘高）彼は内面は優しくておもしろいのある好青年である。しかし、その顔つきとはうらはらに3回生S氏同様ズバズバ、ハッキリものを言う。「草や花は水をやらないと育ちません。僕にも栄養をつけて下さい。」と名言を残し、先輩にたかったのは有名な話である。そのかいあってか一年のブランクをものともせず、その大きな耳を活かし、水泳・水球に飛んで飛んで回ったのだ。将来の水泳部には必要な人物になるのは言わずと知れたことだろう。また、シャドーボクシングの天才である彼は、右手・左手両方使える達人である。テキストばかりで練習しているが、最近ビデオ教材を使いたいと熱望しているらしい。

平山 義浩（発達・平、水球・千里高）彼はファッションセンスにうるさい。自分のことはもちろん2回生のウィンドブレーカーのデザインも彼が考えたものだ。しかしウィンドブレーカーについては賛否両論あるのも確かである。そんな彼は競泳ではブレイメン（平泳ぎのメンバーのこと）として水球では将来の正キーパーとしてがんばっている。

小山 憲子（大手前女・マネージャー・宝塚東高）♪ある一ひやまのなかノンchanにであーた♪彼女は山の中に住んでいる。彼女の家に電話をしても「山に行って家にいないのよ」と、おばちゃんに言われるのが常である。又、六甲台のプールに姿を現したその日からいきなりストップウォッチを握りそのすばらしい手さばきに皆を唖然とさせたのだった。しかし、そんな彼女にあうのはハレー彗星を見るごとく難

しくシーズンが終わってから初めてT嬢と合うなど、まだまだ未知の部分が多い彼女であるが、これから暴かれていくことを望んでいる。

島田 多恵子（聖和短・自・島上高）彼女は保育をお勉強しているので、子どもの扱いには慣れている。特に、コンパともなると、幼児化した人々を看病する手つきは鮮やかなものである。あの優しい笑顔とまったりした声でお世話してくれる。彼女の声は心をなごませる効果もある。私が授業開始時間の9時に家において、どたばたあせっている頃かかってきた彼女からの電話の声を聞いているうちに「遅刻なんてちっぽけなもの」と、悟ることができた。いらいらしてどうしようもないときは、彼女に「たまごのうた歌って」と頼むといいだろう。みるみるうちに幸せな気分になれる。こんな彼女だが泳ぎとなると速い。プールにくるまでがたいへんなので練習時間が少ないのが悩みだが、速い。今年も「希望の星、アトランタヘゴー！」でがんばってください。

寺田 佳奈子（甲南女・マネージャー・下関南高）「あーのーねー、きーのーうーねー（以下伸ばすーを省略）」私は肌が白くって、よくみつあみして、夏は麦わらぼうしをかぶっているの。たまに人の話を頭のスミのほうできいているから、テンポがずれることもあるの。でもタイムはきちっとはかれるよ。私はコンパのときよくのむから、（のまなくても）テンションがあがって行ってまっ赤になるんだけど、口ぐせは「カラオケイヤー、のみにいくー!!」なんだよ。実は酒豪なんだよ。

のみ会の帰りにビデオの被写体になったこともあるけど、それは一生忘れてくらすんだよ。

私のペースにみんなついてきてくださいね。

林 久美子（神戸山手女短・平・宝塚東高）彼女は”女子大's”の一人。お洒落で華やかな彼女だが、キリリとしたまゆ毛が彼女の恐ろしさを物語っている。とにかく彼女のプレストはとっても速い。彼女の普段の話し方からは想像もつかないだろう。そんな彼女は今、週に一回”マナー講座”に通っている。うん。さすがに最近おしとやかになった。しかし、せっかくの努力もお酒を飲むとだいなしだ。笑いキノコをたべたかのようにケタケタ笑いだし、ますます舌がまわらなくなってしまうのだ。「あー、せっかくのマナー講座が…」と思うのはわたしだけだろうか？

番場 順子（発達・個・茨木高）マネージャーとして入部した彼女は選手より速く、選手より黒かった。町中で”ガンバレ黒んぼ”と声をかけられたことがある程だ。また、彼女についていける者はこの世に存在しない。完全にバンバっているからだ。小人料金で電車に乗ろうとしたり、コースロープと共にプールに落ちたり…これはほん

の一例で書き出すときりがない。彼女は19才でなく9才なのだ。そんな彼女だが最近色気づいたという噂をちらほら聞く。どうやら彼女にも女という自覚が生まれてきたようだ。今後も2回生女子の中心としてパンパってほしい。

松井 寿（国際・自・宮崎二女高）「私の名はNOE！あのね、うんとね、漢字で書くとね、海映なの！イエーイ。ねーねーあのね、それでね。うッ。あッ。頭がボーッとしてきたわ。とりあえずプールから上がって休憩しなくちゃ。ふー。しんどいわ。でも誰もわたしのこと気にとめてくれないのね。しょうがないからプールに戻ろっと！あッ！番ちゃんが来た。ねーねー番ちゃんいっしょに泳ごッ！」「…………。」

まっ、彼女なりに水泳を楽しんでもらいたい。

吉川 智子（理・背・茨木高）彼女はバックがとても速い。なにしろフリーをおよぐよりバックを泳いだ方が速いくらいで、ほとんどの大会で入賞していた。来年からも彼女が女子部の主力として活躍するのはまちがいないところだが、それだけに女子部の盛衰が彼女のシェイプアップにかかっているといえるだろう。ぜひともがんばってほしいものである。



1993年度 活動報告

昨年度、関西国公立戦6位、関西インカレ、なんとか二部残留という不本意な成績であった競泳、対照的に関ポロ初優勝、関ポロJr.2連覇という成績を残した水球。

冬の間、例年のようにイトマンのプールを借り、週5日の泳ぎ込みを行ない、六甲台では筋力トレーニングに励み、体を造っていった。春には、金監督の指導のもとイースタン・リゾートで合宿を行ない、来たるべき夏に備えて泳ぎ込みを行なった。

競泳陣は、競泳主任山田、上田、竹田、寺井らの主力選手と、期待の若手磯山、河原の6人が、5月の連休中に金監督の紹介でジュニアのトップ選手の合宿に参加し、水球陣は、同じく5月の連休に名古屋での愛知国体チームの合宿に参加し、国体チームと名古屋学院大学相手に練習試合を行なった。

今シーズンは、競泳は神戸復活のノロシをあげるべく全国公立出場を目標に、そして水球は木村、松島の両エースを軸に、昨年のレギュラーに加えて大型新人大場の加入で関ポロ連覇をステップとしインカレ1勝を目標にした。それぞれの期待を胸に秘め夏へと向かった。

(主将 西尾泰紀 記)

- | | | |
|-----|----------------|-------------|
| 4月 | 新入生歓迎コンパ | |
| 5月 | 京阪神三大学対抗戦 | (2位) |
| 6月 | 関西学生水球選手権 | (優勝) |
| | 兵庫学生選手権 | (男子4位 女子5位) |
| 7月 | 関西国公立大学選手権 | (男子7位 女子5位) |
| | 関西学生選手権 | (男子7位 3部降格) |
| | | (女子2位 2部昇格) |
| | 大阪市立大学・神戸大学対抗戦 | (優勝) |
| 8月 | 全国国公立大学選手権 | |
| | 旧三商大戦 | (優勝) |
| | 近畿国立大学戦 | (男子5位 女子2位) |
| 9月 | 関ポロJr. | (5位) |
| | 月見の宴 | |
| 11月 | 六甲祭 | |
| 12月 | 追い出しコンパ | |
| 1月 | 初泳ぎ | |
| 3月 | 春季室内大会 | |
| | 春合宿 | |

京阪神三大学戦

初めての大会に少し緊張を感じながら同志社に着いた。正門からプールまでが遠く、たくさんの荷物を持っていた私は、プールに着いた頃には、もうヘトヘトになっていた。

その日、天気はくもりで強い風が吹いており、少し寒かった。しかし、六甲台で練習していた私達にとって、ここのプールの水は温水のように感じた。その上、長水路であまりのプールの美しさに、全て初体験だった私は感動してばかりだった。

観客席から応援していると、オリンピック選手が出場している姿が見えた。トップスイマーと同じ試合に出場しているのかと思うと、なぜかうれしくなった。

初めての大会は、いろいろ貴重な経験を得た印象深い大会であった。 (西野 記)

★京阪神三大学対抗水上競技大会 平成5年5月30日 於 同志社プール

<p>• 50m 自由形</p> <p>竹田 26-8 (1位)</p> <p>諫山 28-0 (2位)</p> <p>河原 28-4 (3位)</p>	<p>• 200m 背泳</p> <p>山田 2-56-7 (5位)</p> <p>西尾 3-04-0 (7位)</p>	<p>• 400m メドレーリレー</p> <p>服部・西尾・竹田・上田</p> <p>4-46-1 (2位)</p>
<p>• 100m 自由形</p> <p>竹田 59-8 (1位)</p> <p>上田 1-00-2 (2位)</p> <p>磯山 1-05-1 (4位)</p>	<p>• 200m 平泳</p> <p>西尾 2-58-2 (3位)</p> <p>平山 3-17-4 (6位)</p> <p>河原 3-22-1</p>	<p>• 800m リレー</p> <p>上田・竹田・高倉・山田</p> <p>9-12-0 (3位)</p>
<p>• 400m 自由形</p> <p>上田 4-55-1 (2位)</p> <p>宮崎 5-33-3 (5位)</p> <p>磯山 5-38-6</p>	<p>• 200m 蝶泳</p> <p>小堀 2-42-3 (5位)</p> <p>服部 3-19-2</p>	<p>◎総合</p> <p>1位 京都大学 153点</p> <p>2位 神戸大学 128点</p> <p>3位 大阪大学 91点</p>
<p>• 800m 自由形</p> <p>山田 10-06-1 (1位)</p> <p>高倉 10-44-4 (3位)</p> <p>宮崎 11-57-6 (5位)</p>	<p>• 200m 個々</p> <p>服部 2-45-8 (4位)</p> <p>尾下 2-46-7 (5位)</p>	
	<p>• 400m 個々</p> <p>尾下 6-12-8 (5位)</p> <p>北中 6-42-5 (6位)</p> <p>平山 7-18-6</p>	

関 ポ ロ

「いける!!」。関西学院と立命館が引き分けた時、この言葉が思い浮かんだ。立命戦を納得いかにいままで終えた、僕らの正直な気持ちだった。さらに、今までの試合も勝ちはずのもの、苦しい展開が多く、それだけに、なおさら優勝したいと強く感じていた。そこにこの引き分けだ。関学に勝ちさえすればいいのだ。今までの心のもやもやは、いっきにふっとんだ。

関学戦、終わってみれば――。皆がはしゃいでいた。誰かが泣いていた。握手してくれた人もいた。友達が、先輩が、後輩が言ってくれた。「おめでとう」と。最高だった。そして胸の奥でくり返し叫んでいた。「おれらの優勝だ」と。

(木村 記)

★ 関西学生水球リーグ戦 平成5年6月5日(土)～6月27日(日) 於 大阪市立大学プール

6/5	神戸大	Q	大阪市立大
	8	1	1
	8	2	1
	6	3	0
	4	4	1
	26	計	3

- | | |
|---------|----------|
| 1. 西尾 | 8. 高橋 ① |
| 2. 上山 ② | 9. 小柳 |
| 3. 藤川 | 10. 木村 ⑩ |
| 4. 長谷川 | 11. 渡辺 ① |
| 5. 吉岡 | 12. 鈴木 |
| 6. 大場 ② | 13. 門 ② |
| 7. 松島 ⑦ | |

6/6	神戸大	Q	大阪府高専
	2	1	1
	0	2	2
	5	3	1
	5	4	2
	12	計	6

- | | |
|---------|----------|
| 1. 西尾 | 8. 高橋 |
| 2. 上山 | 9. 小柳 |
| 3. 藤川 | 10. 木村 ⑤ |
| 4. 長谷川 | 11. 渡辺 ① |
| 5. 吉岡 | 12. 鈴木 |
| 6. 大場 ① | 13. 門 ① |
| 7. 松島 ④ | |

6/19	神戸大	Q	大阪大
	1	1	3
	3	2	1
	2	3	2
	2	4	1
	8	計	7

- | | |
|---------|----------|
| 1. 西尾 | 8. 高橋 ① |
| 2. 上山 | 9. 小柳 |
| 3. 藤川 | 10. 木村 ② |
| 4. 長谷川 | 11. 渡辺 |
| 5. 吉岡 | 12. 鈴木 |
| 6. 大場 ① | 13. 門 ③ |
| 7. 松島 ① | |

6/20	神戸大	Q	立命館大
	3	1	2
	1	2	1
	0	3	1
	2	4	3
	6	計	7

- | | | | | |
|---|-----|----|----|---|
| 1 | 西尾 | 8 | 高橋 | |
| 2 | 上山 | 9 | 小柳 | |
| 3 | 井上 | 10 | 木村 | ① |
| 4 | 長谷川 | 11 | 渡辺 | |
| 5 | 吉岡 | 12 | 鈴木 | |
| 6 | 大場 | 13 | 門 | ① |
| 7 | 松島 | | | ② |

6/20	神戸大	Q	京都教育大
	6	1	0
	3	2	1
	7	3	2
	4	4	1
	20	計	4

- | | | | | |
|---|-----|----|----|---|
| 1 | 西尾 | 8 | 高橋 | ② |
| 2 | 上山 | 9 | 小柳 | |
| 3 | 藤川 | 10 | 木村 | ⑨ |
| 4 | 長谷川 | 11 | 渡辺 | |
| 5 | 吉岡 | 12 | 鈴木 | |
| 6 | 大場 | 13 | 門 | |
| 7 | 松島 | | | ④ |

6/26	神戸大	Q	京都大
	2	1	1
	2	2	4
	3	3	2
	2	4	0
	9	計	7

- | | | | | |
|---|-----|----|----|---|
| 1 | 西尾 | 8 | 高橋 | |
| 2 | 上山 | 9 | 小柳 | |
| 3 | 藤川 | 10 | 木村 | ④ |
| 4 | 長谷川 | 11 | 渡辺 | ② |
| 5 | 吉岡 | 12 | 鈴木 | |
| 6 | 大場 | 13 | 門 | ① |
| 7 | 松島 | | | ② |

6/27	神戸大	Q	大阪経済大
	6	1	0
	7	2	0
	7	3	0
	4	4	1
	24	計	1

- | | | | | |
|---|-----|----|----|---|
| 1 | 藤川 | 8 | 高橋 | ③ |
| 2 | 井上 | 9 | 小柳 | ① |
| 3 | 安井 | 10 | 木村 | ⑧ |
| 4 | 長谷川 | 11 | 渡辺 | ① |
| 5 | 吉岡 | 12 | 鈴木 | |
| 6 | 大場 | 13 | 門 | ① |
| 7 | 松島 | | | ② |

	神戸大	Q	関西学院大
	3	1	0
	1	2	1
	1	3	3
	3	4	2
	8	計	6

- | | | | | |
|---|-----|----|----|---|
| 1 | 西尾 | 8 | 高橋 | |
| 2 | 上山 | 9 | 小柳 | |
| 3 | 藤川 | 10 | 木村 | ③ |
| 4 | 長谷川 | 11 | 渡辺 | ① |
| 5 | 吉岡 | 12 | 鈴木 | |
| 6 | 大場 | 13 | 門 | ① |
| 7 | 松島 | | | ② |

順位		神戸大	立命館	関学大	大阪大	府高専	京大	京教大	大市大	大経大	勝	負	分	勝点	得点	失点	点得失
1	神戸大	●	○	○	○	○	○	○	○	○	7	1	0	14	113	41	72
2	立命館大	○	●	△	●	○	○	○	○	○	6	1	1	13	113	38	75
3	関西学院大	●	△	●	○	○	○	○	○	○	6	1	1	13	102	48	54
4	大阪大	●	○	●	●	○	○	○	○	○	5	3	0	10	93	47	46
5	府立高専	●	●	●	○	○	△	○	○	○	4	3	1	9	114	62	52
6	京大	●	●	●	●	△	○	○	○	○	3	4	1	7	73	43	35
7	京大教育大	●	●	●	●	●	●	△	○	○	1	6	1	3	50	138	-88
8	大阪市立大	●	●	●	●	●	●	△	○	○	1	6	1	3	37	134	-97
9	大阪経済大	●	●	●	●	●	●	●	●	●	0	8	0	0	41	190	-149

ベスト7

西尾泰紀、木村一也、門 謙次 (神戸大)

金山哲也、奥田真一 (立命館) 藤江弘和、桶屋良太 (関学)

得点王

1. 木村一也 43点 2. 池田(阪大) 28点 3. 金山(立命) 27点

兵庫インカレ

今シーズン最初の公式試合とあって、各個人の気合が表れたのか、ベストを出す人が多かったようです。個人的には、初めて公式試合に出場したため緊張し、納得のいかないものでした。1年生はブランクの大きさを改めて感じたのではなかったのでしょうか。各々はベストを出しても、他大学のレベルアップについていけない、ということも再確認できる詳合となりました。再確認することならば誰でもできるけれど、そこからより一層の努力をし、少しでも他大学のレベルに追いつき、過去

の偉大な業績が過去の遺物としないよう、強く思ったのであります。

(磯山 記)

★兵庫県学生選手権水泳競技大会 平成5年6月27日 於 王子公園プール

・50m 自由形

男 諫山 27-7 (8位)
河原 28-0
竹田 28-5

女 小笠原 31-7 (7位)
伊藤 34-4

・200m 自由形

男 宮崎 2-35-2
河原 2-30-8
磯山 2-32-0

女 松井 2-59-3 (5位)

・100m 自由形

男 竹田 59-1 (5位)
諫山 1-02-9
磯山 1-05-3

女 小笠原 1-09-0 (6位)
伊藤 1-16-5

・400m 自由形

男 山田 4-40-5 (2位)
上田 4-49-6 (5位)
高倉 5-01-2 (8位)

女 池永 5-25-6 (1位)
松井 6-05-2 (3位)

・800m 自由形

女 池永 11-18-3 (1位)

・1500m 自由形

男 山田 18-53-3 (1位)
上田 19-48-9 (3位)
高倉 20-26-7 (8位)

・100m 背泳

男 上山 1-08-8 (7位)
服部 1-16-7

女 吉川 1-27-6 (8位)

・200m 背泳

女 吉川 3-02-4 (6位)
上村 3-10-7 (8位)

・100m 平泳

男 柴田 1-11-9 (4位)
西尾 1-17-5
平山 1-23-8

女 今村 1-38-2

・200m 平泳

男 柴田 2-42-1 (4位)
平山 3-09-9

女 今村 3-28-3 (8位)

・100m 蝶泳

男 小南 1-01-7 (3位)
小堀 1-06-1 (8位)

女 寺井 1-09-2 (3位)

・200m 蝶泳

男 小堀 2-35-4 (6位)

女 寺井 2-38-4 (5位)

・200m 個々

男 小南 2-26-2 (5位)
服部 2-40-1
尾下 2-43-5

・400m 個々

男 尾下 5-53-6
北中 6-25-4

<ul style="list-style-type: none"> • 400m メドレーリレー 男 上山・柴田・小南・竹田 4-23-8 (5位) 女 吉川・今村・寺井・小笠原 5-25-2 (4位) • 200m フリーリレー 女 小笠原・松井・伊藤・寺井 2-09-8 (4位) 	<ul style="list-style-type: none"> • 400m フリーリレー 男 竹田・柴田・諫山・上田 3-57-3 (3位) 女 小笠原・伊藤・松井・寺井 4-55-5 (5位) • 800m フリーリレー 男 上田・山田・竹田・小南 8-51-7 (4位) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 総合 男 1位 関西学院大学 164点 2位 甲南大学 163点 3位 神戸商船大学 82点 4位 神戸大 75点 女 1位 武庫川女子大 238点 2位 関西学院大学 67点 3位 神戸外国語大 49点 4位 流通科学大学 48点 5位 神戸大学 44点
--	--	---

関西国公立戦

結果から述べる。男子7位、女子5位。元競泳主任としては、あまり振り返りたくない戦績だが、逆に振り返らなければならない責任もあると思う。

男子は、昨年さらに順位を落とし、得点できたのが個人12種目中においてわずか6種目、その中で100バタを除いて決勝進出者数は、すべて1人という寂しさであった。リレーの5~7位という順位が層の薄さを物語っている。

女子については、主力組のあいかわらずの活躍、新戦力の決勝進出、混継の2位など、今後に希望をもてる材料が多かったように思う。来シーズンもメンバーがほとんど変わらないので、もっと層を厚くして、さらに上を目指して欲しい。

ここ最近の競泳の低迷（主に男子）が、そのまま結果に表れたといったところだが、市大や京教大など、かつては負けるはずのなかったチームに勝てなくなったところをみると、即戦力の獲得がうまくいかなかったことも確かに一因かも知れない。しかし、もっと大切なことは、我々のチームとしての目標が曖昧で、ハングリーな気持ちを失っていたことだろう。晴れ舞台の全国公に団体出場できる喜びは、経験のある学年には分かると思う。もちろん一人の選手としてはベスト更新が第一だが、チームとしての意識がまだまだ足りなかったと、普段の練習も含めて反省することばかりの関西国公立であった。とにかく男子は落ちるところまで落ちてしまった感じなので、次は女子と共に少しでも順

位を上げて、来年のこの欄ではギャグの一つでも書けるよう、健闘を祈っています。

(山田 記)

★ 関西国公立大学水泳競技大会 平成5年7月10・11日 於 大阪府立臨海プール

〔男子〕

・ 50m 自由形

竹田 (予)26-7
(決)26-9 (5位)
諫山 28-2
河原 28-3

・ 100m 自由形

竹田 1-00-4
上田 1-01-3
諫山 1-03-0

・ 200m 自由形

上田 (予)2-13-3
(決)2-13-0
山田 2-15-1
磯山 2-31-7

・ 400m 自由形

山田 (予)4-45-0
(決)4-42-5 (7位)
高倉 5-04-5
宮崎 5-22-4

・ 100m バタフライ

小南 (予)1-05-1
(決)1-02-3 (3位)
小堀 (予)1-07-1
(決)1-07-1
磯山 1-17-0

・ 200m バタフライ

小南 (予)2-25-7
(決)2-16-9 (3位)
高倉 2-40-3
小柳 3-10-3

・ 100m 背泳

上山 1-10-4
大場 1-11-6
服部 1-17-2

・ 200m 背泳

上山 2-32-8
大場 2-43-1

・ 100m 平泳

柴田 (予)1-13-7
(決)1-12-5 (4位)

西尾 1-17-7
平山 1-22-7

・ 200m 平泳

柴田 (予)2-40-6
(決)2-38-1 (4位)

西尾 2-54-2
平山 3-10-7

・ 200m 個メ

服部 2-42-5
尾下 2-42-7
北中 2-53-9

・ 400m 個メ

小堀 5-42-4
尾下 5-51-3
北中 6-28-1

・ 400m メドレーリレー

上山・柴田・小南・竹田
4-23-4 (5位)

・ 400m リレー

柴田・竹田・上山・上田
3-59-4 (6位)

・ 800m リレー

上田・山田・竹田・小南
8-54-9 (7位)

〔女子〕

・ 50m 自由形

小笠原 (予)31-6
(決)31-4 (4位)

伊藤 34-5

・ 100m 自由形

小笠原(予)1-10-3
(決)1-08-9 (3位)

伊藤 1-18-5

・ 200m 自由形

松井 2-55-2

• 400m 自由形
松井 (予)6-09-8
(決)6-00-4 (8位)

• 100m 蝶泳
寺井 (予)1-16-0
(決)1-10-2 (1位)

• 200m 蝶泳
寺井 (決)2-35-2 (1位)

• 100m 背泳
吉川 (予)1-24-4
(決)1-23-8 (6位)

• 200m 背泳
吉川 (予)2-58-1
(決)2-57-4 (3位)

• 100m 平泳
今村 1-38-6

• 200m 平泳
今村 3-28-9

• 400m メドレーリレー
吉川・今村・寺井・小笠原
5-19-8 (2位)

• 200m リレー
寺井・伊藤・松井・小笠原
2-10-5 (7位)

• 400m リレー
寺井・伊藤・松井・小笠原
4-53-5 (7位)

◎ 総合

男子

1位 京都大学 132点
2位 大阪府立大学 83点
3位 神戸商船大学 74点
4位 京都教育大学 45点
5位 大阪大学 44点
6位 大阪市立大学 41点
7位 神戸大学 37点

女子

1位 大阪教育大学 110点
2位 奈良女子大学 70点
3位 京都大学 65点
4位 神戸外国語大学 54点
5位 神戸大学 50点

関西インカレ

毎年、決まったかのように青空の広がる3日間であった。女子は、この空に舞う鳥の如く2部へ昇格、男子は、日没とともに3部降格が決まった。

男子の3部降格は、何が原因であったのか？ 人材——去年卒業された先輩方の力は偉大であったのに対し、それを補うに充分といえるほどの我々のパワーアップ、及び新人の確保ができなかった。環境——当然ではあるが、プールは1つしかない。しかも築〇十年、周りは国有林で日当りは悪く、葉が大量に落ちてくる。しかし最大の原因は、我々の勝利に対する「執念」ではないだろうか。他大学、ライバル、自分に勝つ、という執念があれば、我々のレベルでの素質、そして環境さえも克服できたのではないだろうか。

来年は、女子は1部へ、男子は2部へ昇格するよう最大限の努力をしていきたい。

(上田 記)

★ 関西学生選手権水泳競技大会

平成5年7月27・28・29日

於 大阪プール

• 50m 自由形

河原 28-08
諫山 28-31
西野 31-52

小笠原(予)31-44

(決)31-11 (6位)

伊藤 34-28

• 100m 自由形

竹田 (予)58-54
(決)58-39 (6位)
諫山 1-03-6
磯山 1-04-24

小笠原(予)1-09-32

(決)1-08-51 (3位)

伊藤 1-16-56

• 200m 自由形

上田 2-15-33
宮崎 2-25-47
磯山 2-27-47

松井 (予)2-50-04

(決)2-50-46 (5位)

• 400m 自由形

山田 (予)4-44-80
(決)4-38-20 (6位)
上田 4-54-10
高倉 5-02-31

松井 (決)5-56-29 (5位)

池永 (決)5-32-11 (3位)

• 800m 自由形

池永 (決)11-23-63 (1位)

• 1500m 自由形

山田 (決)18-50-16 (7位)

高倉 (決)20-23-64

• 100m 蝶泳

小南 (予)1-02-70
(決)1-01-66 (6位)
竹田 (予)1-04-20
(決)1-03-59 (8位)
小堀 (予)1-05-15
(決)1-05-27

寺井 (決)1-11-38 (1位)

• 200m 蝶泳

小南 (予)2-24-12
(決)2-15-21 (2位)
小堀 (予)2-31-67
(決)2-33-62

寺井 (決)2-37-27 (1位)

• 100m 背泳

大場 (予)1-08-69
(決)1-09-31
河原 1-22-07

吉川 (予)1-25-18

(決)1-23-27 (5位)

上村 (予)1-27-78

(決)1-28-03

• 200m 背泳

上山 2-32-27
大場 2-36-29

吉川 (決)2-56-37 (2位)

上村 (決)3-09-81 (5位)

• 100m 平泳

柴田 (予)1-11-88
(決)1-10-81 (3位)
西尾 (予)1-13-41
(決)1-13-45 (7位)
松島 1-17-51

今村 1-35-85

• 200m 平泳

柴田 (予)2-39-39
(決)2-36-59 (4位)
西尾 2-47-75
松島 2-51-11

今村 3-22-38

• 200m 個々

服部 (予)2-41-47
(決)2-39-83 (7位)
尾下 (予)2-41-47
(決)2-41-15 (8位)
北中 2-54-72

番場 (決)2-52-46 (4位)

・400m 個メ
 尾下 (予) 5-46-79
 (決) 5-41-40 (7位)
 北中 6-21-44

 番場 (決) 6-07-41 (3位)

 ・200m フリーリレー
 (女) 寺井・番場・伊藤・小笠原
 2-08-03 (5位)

 ・400m フリーリレー
 (男) 上田・上山・柴田・竹田
 4-59-9 (6位)

 (女) 寺井・松井・番場・小笠原
 4-42-63 (2位)

・800m フリーリレー
 (男) 山田・上田・竹田・小南
 8-45-47 (8位)

 ・400m メドレーリレー
 (男) 上山・柴田・小南・竹田
 4-18-44 (5位)
 (女) 吉川・今村・寺井・小笠原
 5-17-42 (2位)

◎ 順位
 男子 (2部)
 1位 京都大学
 2位 桃山学院大学
 3位 関西外国語大学
 4位 大阪府立大学
 5位 大阪商業大学
 6位 神戸商船大学
 7位 神戸大学
 女子 (3部)
 1位 流通科学大学
 2位 神戸大学

市 大 戦

ある夏の夜、薄暗く輝く水面の眼下に、私は六甲台プールに浮かぶ15cm幅の水球ゴールの上に立たずんでいた。その上を走り、跳びはねていた私の中には、幅の狭い棒の上にいるという恐怖心はまるでなく、歓喜に満ちていた。

今回、市大戦は神大主管であったが、関西学生選手権が市大戦の前々日まで開催されて、その準備は前日に行うことになっていた。その集約された仕事量は先輩の「毎年こんなもんだよ」という言葉。自分の耳を疑う程であった。プールの中の落葉、オーバーフローに息断えたこうもり、ふやけたミミズ、ジャングルを思わせるフェンスから突き出た草木……。この光景は、初めて神大プールを見た時のショックと同程度のもだったが、人間の忘却という能力によって、かき消されていたのだった。雨の降りしきる中、海女となってプールに潜る者、ちりとりを手にミミズと語る者、かまをふりかざしフェンスを渡り歩く者と、それぞれの仕事を全うした。涙と汗、雨が頬をツツと流れていった。

六甲台プールはポーアイプールのごとく美しく、王子公園プールの様な広がりをもってまぶしく光

っていた。

この対抗戦までにいくつかの試合は終了し、競泳、水球ともに市大との力関係は、ある程度予測されていた。それは水球において比較的楽観視でき、競泳においては厳しいものであった。競泳は予想通り接戦となったが、結果的には惜敗し、水球は大差で勝つことができ、総合優勝となった。六甲台プールは優勝によって一層輝きを増し、そのままコンパに突入することになった。

少しぬるめのおいしいビールと生協の豪華な料理に囲まれ、市大、神大、そして両校のOBの方々を交え、宴は佳境に入っていた。すると、1人2人とプールに消え、皿が投げ込まれ、テントが沈み、浮ゴールは流れていった。

そんな中、私も宴の風に流され、ゴールの上を華麗に舞っていたのである。

(伊藤 記)

★大阪市立大学・神戸大学対抗水上競技大会 平成5年7月31日(土) 於 神戸大学六甲台プール

〈競泳〉

・100m 自由形

竹田	59-2	(2位)
上田	1-00-34	(3位)
諫山	1-02-7	(5位)

・400m 自由形

山田	4-41-4	(2位)
上田	4-50-5	(3位)
尾下	4-55-3	(4位)

・800m 自由形

山田	9-44-6	(2位)
高倉	10-27-5	(3位)
宮崎	11-22-8	(6位)

・200m 蝶泳

小堀	2-30-8	(1位)
寺井	2-45-8	(2位)
竹田	2-45-9	(3位)

・200m 背泳

大場	2-35-0	(3位)
服部	2-50-6	(5位)
吉川	3-00-0	(6位)

・200m 平泳

柴田	2-43-0	(1位)
松島	2-45-6	(2位)
西尾	2-46-2	(3位)

・200m 個メ

柴田	2-32-5	(3位)
服部	2-41-0	(5位)
尾下	2-43-1	(6位)

・400m メドレーリレー

大場・柴田・竹田・上田	4-26-2	(1位)
-------------	--------	------

・800m リレー

柴田・竹田・上田・山田	8-55-2	(2位)
-------------	--------	------

◎ 総合 (競泳)

1位	大阪市立大	87点
2位	神戸大	81点

〈水球〉

神戸大	Q	大阪市立大
6	1	2
1	2	2
6	3	0
6	4	1
19	計	5

- | | |
|---------|----------|
| 1. 西尾 | 8. 高橋 ③ |
| 2. 上山 | 9. 小柳 ① |
| 3. 井上 | 10. 木村 |
| 4. 服部 ② | 11. 中村 |
| 5. 諫山 | 12. 鈴木 ① |
| 6. 大場 ⑩ | 13. 門 ② |
| 7. 松島 | |

全国国公立戦

入部して以来、男女ともに団体出場できなかったのは初めてでした。リレー1種目、個人のべ5種目で臨むことになりました。

プログラムを見てびっくり// 女子のメドレーリレーは主催校のエントリーミス(1分違い//)でなんと最終組のセンターコース、筑波と鹿屋にはさまれて泳ぐはめになったのです。

しかし、一応メドレーは神大の得意とするところであったので、メチャクチャ情けないレース展開にはならずすみしました。7着の大学と大差なかったので、来年は頑張れば決勝に残れるかも……。それにしても貴重な体験でした。また、小南さんが6年生にして神大新を出す泳ぎで、筑波、鹿屋etcを抜き去り決勝に進出されました。ゴールタッチ後プールから上がれない小南さんを見たのは初めてだ、という先輩のお言葉でした。その他の記録は、まあまあといったところです。この試合は広島で行われたにもかかわらず、たっくんの方が応援に来て下さいました。

また1日目終了後、松島さんのお宅で、家族総出でたいへんなおもてなしをして下さり、大勢でおじゃましてしまいました。この場を借りてお礼を申し上げます。

試合全体を通して思ったのは、関西は決勝進出者が意外と少なく、他の地域にくらべレベルが低いのではないか、ということです。スポーツ推せんを行う大学がないことも関係していると思われます。が、ともかく、今の神大の状況では、まず関西で上位に進出することもままならないため、当面は、こちらの身近な目標に向かって努力を重ねなければならない、ということになると思います。

(寺井 記)

★全国国公立大学選手権水泳競技大会 平成5年8月8・9日 於 広島市総合屋内プール

<ul style="list-style-type: none"> • 女子400mメドレーリレー 吉川・今村・寺井・小笠原 5-22-20 • 女子100m 自由形 小笠原 1-08-05 • 女子100m 蝶泳 寺井 1-10-14 	<ul style="list-style-type: none"> • 男子200m 蝶泳 小南 (予) 2-14-84 (決) 2-18-04 女子 寺井 (予) 2-41-20 (決) 2-33-91 • 女子200m 背泳 吉川 2-56-48 	<ul style="list-style-type: none"> • 男子100m 平泳 柴田 1-11-61
--	---	--

旧 三 商 大 戦

今年の三商大戦は、一橋大学小平プールで行われた。競泳の部では、おしくも市大には敗れたが、一橋には圧勝、水球の部では市大に圧勝、一橋には先に神大が得点を取り、有利に試合をはこんでいたにもかかわらず、追い越し追いつかれのくり返しで、再延長の末、辛くも勝ち、神大が優勝した。

試合の後にはコンパがあり、うわさには聞いていたが、あれよこれよというまに、机、テント、ビール、墨汁、ほうき、ふえ〜るわかめまでがプールに殴りこまれていった。

(大場 記)

★ 旧三商大水上競技大会 平成5年8月15日(日) 於 一橋大学小平プール

〈競泳〉

• 100m 自由形

竹田 59-9
上田 1-00-6
渡辺 1-03-6

• 400m 自由形

山田 4-56-6
尾下 5-02-9
宮崎 5-51-7

• 800m 自由形

山田 10-09-8
高倉 10-49-4

• 200m 蝶泳

小堀 2-36-1
寺井 2-51-0

• 200m 背泳

上山 2-39-8
大場 2-41-9
吉川 3-01-8

• 200m 平泳

柴田 2-49-2
松島 2-52-6

• 200m 個メ

小堀 2-43-2
服部 2-45-8
北中 2-56-6

• 400m メドレーリレー

大場・柴田・竹田・上田
4-35-21

• 800m リレー

上田・山田・柴田・竹田
9-07-3

◎ 総合

1位 大阪市立大学
2位 神戸大学
3位 一橋大学

〈水球〉

神戸大	Q	大阪市立大
4	1	2
5	2	2
6	3	1
4	4	3
19	計	8

- | | | | |
|--------|---|--------|---|
| 1. 西尾 | | 8. 高橋 | ① |
| 2. 上山 | ① | 9. 安井 | |
| 3. 井上 | | 10. 木村 | ④ |
| 4. 長谷川 | ① | 11. 渡辺 | ① |
| 5. 小柳 | ① | 12. 鈴木 | ② |
| 6. 大場 | ③ | 13. 門 | ① |
| 7. 松島 | ④ | | |

神戸大	Q	一橋大
1	1	1
2	2	2
3	3	1
1	4	3
1	延1	1
0	延2	0
2	延3	0
3	延4	1
13	計	9

- | | | | |
|--------|---|--------|---|
| 1. 西尾 | | 8. 高橋 | ② |
| 2. 上山 | | 9. 安井 | |
| 3. 井上 | | 10. 木村 | |
| 4. 長谷川 | | 11. 渡辺 | ④ |
| 5. 小柳 | | 12. 鈴木 | ① |
| 6. 大場 | ⑤ | 13. 門 | ① |
| 7. 松島 | | | |

近畿地区国立大戦

今年の近国は、関国と同じく臨海プールで行われました。そのため、例年近国は数少ない電動計時の大会の一つであったのに、今年は電光掲示板が使用されず、少し残念でした。さて、今シーズンをしめくくるこの大会、結果はというと、まず男子では、2冠で有終の美を飾られた小南さん、最後に2種目ともベストを更新された上山さん、10レースフル出場の竹田君、何回目かの決勝進出でようやく得点を獲得できた小堀君達の活躍が目立ちました。全体的に、ショート陣にベストを更新した人が多かったようです。しかし、他大学はそれ以上にレベルアップしており、神大チームのレベルは他大学に全く追いついておらず、それが順位となって表れたように思われます。女子は少人数ながら、よく健闘しました。特にメドレーリレーは、それまでの記録を10秒近く縮めて優勝し、自分達でも驚いたほどです。伊藤さんが最後に決勝進出を果たし、ベストを出したのも光りました。総合2位というのは、近年では最も良い成績ではないかと思えます。

これで今シーズンの試合は終了したわけですが、これからの課題として強く感じたのは、もっと外に目を向けていくということです。チーム中で切磋琢磨するのも大切ですが、常に他の大学も意識して自分達に刺激を与えないと、いずれは他大学に置いて行かれることになると思います。このため、来シーズンからは、他大学との合同練習や合同記録会を積極的に行っていきたいと考えています。

最後になりましたが、この大会を最後に現役を退かれる先輩方、今まで本当にお疲れ様でした。これからも御指導、助言をお願いいたします。

(寺井 記)

★ 近畿地区国立大学体育大会 平成5年8月21・22日 於 大阪府立臨海プール

〔男子〕

• 50m 自由形

渡辺 (予)27-4
(決)26-9 (7位)

河原 27-6

諫山 27-9

• 100m 自由形

竹田 (予)58-9
(決)58-7 (5位)

諫山 1-02-5

河原 1-03-7

• 200m 自由形

上田 (予)2-13-4
(決)2-13-0 (6位)

宮崎 2-24-7

磯山 2-27-3

• 400m 自由形

山田 (予)4-46-4
(決)4-46-3 (7位)

上田 4-51-4

宮崎 5-18-9

• 800m 自由形

山田 (予)10-02-6
(決)9-57-9 (6位)

高倉 10-43-2

高橋 11-27-9

• 100m 蝶泳

小南 (予)1-03-4
(決)1-01-9 (1位)

竹田 (予)1-03-1

(決)1-03-7 (5位)

小堀 (予)1-05-8

(決)1-05-8 (8位)

• 200m 蝶泳

小南 (予)2-30-8
(決)2-16-3 (1位)

小堀 (予)2-32-5

(決)2-31-3 (6位)

門 2-53-6

• 100m 背泳

上山 (予)1-08-1
(決)1-07-7 (6位)

大場 1-10-0

服部 1-15-0

• 200m 背泳

上山 (予)2-31-4
(決)2-29-1 (5位)

大場 2-38-3

中村 3-05-8

• 100m 平泳

西尾 (予)1-15-3
(決)1-15-6 (8位)

柴田 1-16-1

平山 1-21-5

• 200m 平泳

柴田 (予)2-43-5
(決)2-37-5 (4位)

松島 2-50-2

平山 3-05-9

• 200m 個メ
木村 (予) 2-33-3
 (決) 2-29-9 (4位)
服部 2-44-6
北中 2-55-4

• 400m 個メ
尾下 (予) 5-49-9
 (決) 5-45-1 (6位)
門 6-00-3
北中 6-39-0

• 200m フリーリレー
竹田・門・山田・上山
 (予) 1-47-7
竹田・柴田・上山・小南
 (決) 1-46-2 (5位)

• 800m フリーリレー
竹田・上田・木村・山田
 (予) 8-57-5
竹田・山田・上田・小南
 (決) 8-54-1 (6位)

• 400m メドレーリレー
大場・西尾・小南・竹田
 (予) 4-30-5
上山・柴田・小南・竹田
 (決) 4-20-9 (4位)

〔女子〕

• 50m 自由形
小笠原 (予) 31-5
 (決) 30-8 (2位)
伊藤 (予) 33-2
 (決) 32-3 (7位)

• 100m 自由形
小笠原 (予) 1-10-8
 (決) 1-08-6 (3位)
伊藤 1-15-8

• 200m 自由形
松井 2-52-7

• 400m 自由形
松井 6-08-4
 (決) 6-02-5 (6位)

• 100m 蝶泳
寺井 (予) 1-17-1
 (決) 1-09-5 (1位)

• 200m 蝶泳
寺井 (予) 2-50-4
 (決) 2-34-6 (1位)

• 100m 背泳
吉川 (予) 1-23-5
 (決) 1-24-1 (6位)

• 200m 背泳
吉川 (予) 3-00-1
 (決) 2-59-1 (4位)

• 100m 平泳
今村 1-38-5

• 200m 平泳
今村 3-25-7

• 200m フリーリレー
番場・小笠原・今村・伊藤
 2-10-3

• 400m フリーリレー
寺井・伊藤・小笠原・番場
 (予) 4-51-0
伊藤・番場・寺井・小笠原
 (決) 4-40-5 (2位)

• 400m メドレーリレー
吉川・番場・寺井・松井
 (予) 5-26-4
吉川・番場・寺井・小笠原
 (決) 5-08-8 (1位)

◎ 総合

男子

- 1位 大阪大学
- 2位 京都大学
- 3位 神戸商船大学
- 4位 京都教育大学
- 5位 神戸大学

女子

- 1位 大阪教育大学
- 2位 神戸大学

イ ン カ レ

関ポロ連覇を成し遂げた今、インカレに参加するものから、対等に戦える場へと変えることが、我々に課せられた役割だと思っていた。今の神大なら、日体・筑波は別として、一部の下位なら十分に戦えると思っていた。

8月28日午前11時、敵は一部最下位の中央大学、緊張と興奮のなか試合は始まった……。

我々は最後まで試合を続けることができなかった。力の差は明らかだった。敵の二軍が出てきたときは多少競った試合ができたが、一軍相手ではまったく歯がたたなかった。コールド負けに反省も何もないが、泳力の差が全てだったと思う。

後輩たちは、先輩の無念を忘れずに、神大水球が次のレベルに少しでも近づくように頑張ってくれ。

(松島 記)

★全日本学生選手権水球競技大会

平成5年8月28日(土) 於 名古屋市口論義議総合運動公園プール

神 戸 大	Q	中 央 大
0	1	4
1	2	7
1	3	4
2	4	4
4	計	19

- | | |
|--------|--------|
| 1. 西尾 | 8. 高橋 |
| 2. 上山 | 9. 小柳 |
| 3. 藤川 | 10. 木村 |
| 4. 長谷川 | 11. 渡辺 |
| 5. 井上 | 12. 鈴木 |
| 6. 大場 | 13. 門 |
| 7. 松島 | ① |
| | ③ |

関 ポ ロ Jr.

関ポロも終わり、新チームを結成してから市大戦、三商戦をなんとか勝ち、なんとか無敗でこの試合にいとめた。「優勝か3位しかない」という自分達の勝手な下馬評の中、結果は、初戦で京大に敗れ5位に甘んじてしまった。敗因は、明らかに攻撃の決定力のなさであったように思う。これが前チームとの差なのかも知れない。そして、この時誓った。この悔しい思いは関ポロで晴らすぞ、と。来年の目標は「関ポロ優勝」となったのである。

(高橋 記)

★ 関西学生水球秋期戦

平成5年9月11日(土)・12日(日)・15日(祝) 於 京都大学プール

9/11

神戸大	Q	京都大
0	1	1
2	2	4
0	3	1
1	4	1
3	計	7

- | | |
|---------|---------|
| 1. 藤川 | 8. 高橋 |
| 2. 大場 | 9. 安井 ① |
| 3. 井上 ① | 10. 中村 |
| 4. 長谷川 | 11. 渡辺 |
| 5. 小柳 | 12. 鈴木 |
| 6. 平山 | 13. 門 ① |
| 7. 服部 | |

9/12

神戸大	Q	龍谷大
4	1	3
4	2	3
8	計	6

- | | |
|----------|---------|
| 1. 藤川 | 8. 高橋 ③ |
| 2. 大場 ② | 9. 安井 |
| 3. 服部 | 10. 中村 |
| 4. 長谷川 ② | 11. 渡辺 |
| 5. 小柳 | 12. 鈴木 |
| 6. 平山 | 13. 門 ① |
| 7. 井上 | |

神戸大	Q	名古屋大
6	1	2
5	2	0
4	3	1
1	4	3
16	計	6

- | | |
|----------|----------|
| 1. 平山 | 8. 高橋 ② |
| 2. 大場 ③ | 9. 安井 |
| 3. 諫山 | 10. 中村 ① |
| 4. 長谷川 ① | 11. 渡辺 ② |
| 5. 小柳 | 12. 鈴木 ② |
| 6. 井上 ② | 13. 門 ② |
| 7. 服部 ① | |

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1. 立命館大学 | 6. 名古屋大学 | 11. 京都教育大学 |
| 2. 大阪大学 | 7. 大阪市立大学 | 12. 福井工業大学 |
| 3. 大阪府立高専 | 8. 龍谷大学 | 13. 神戸学院大学 |
| 4. 京都大学 | 9. 関西学院大学 | 14. 大阪工業大学 |
| 5. 神戸大学 | 10. 大阪経済大学 | |

現 役 自 己 へ

氏 名	50Fr	100Fr	200Fr	400Fr	800Fr	1500Fr
上 田 純 也		59-9	<u>2-07-6</u>	<u>4-47-6</u>	10-32-5	19-48-9
門 謙 次				5-14-1		
高 橋 一 弘		<u>1-07-9</u>		<u>5-17-3</u>	11-27-9	
竹 田 匡 志	26-2	57-75	2-12-9			
長谷川 哲 也		1-09-2				
藤 川 壮 太						
渡 辺 雅 人	26-9	1-00-5		<u>5-19-1</u>	11-34-2	
磯 山 正 則	<u>28-6</u>	<u>1-03-3</u>	2-27-3	<u>5-17-5</u>		
井 上 泰 宏		<u>1-04-8</u>		<u>5-55-9</u>		
河 原 如 成	27-6	<u>1-02-9</u>	2-30-8	<u>5-38-9</u>		
北 中 宏 一		<u>1-07-9</u>	<u>2-30-1</u>	5-45-9		
小 柳 勝 義				5-48-4		
鈴 木 健 太 郎				<u>5-58-0</u>		
宮 崎 浩 司		<u>1-05-8</u>	2-24-08	5-13-07	11-20-0	
安 井 務	30-7	<u>1-12-5</u>		6-22-5		
諫 山 大 介	27-1	<u>1-01-2</u>		<u>5-28-1</u>		
大 場 理 世		<u>1-00-6</u>				
尾 下 順 治		<u>1-04-2</u>		<u>4-55-3</u>		
小 堀 真 樹	29-0					
瀧 本 太 平		<u>1-22-4</u>				
中 村 洋 平				<u>5-20-7</u>	11-43-9	
西 野 茂	30-6	<u>1-09-3</u>				
服 部 陽 宏		<u>1-00-7</u>		<u>5-02-55</u>		
平 山 義 浩		<u>1-07-0</u>				
小笠原 恭 子	30-69	1-07-77	2-30-20	5-28-1		
斎 藤 雅 子	37-1	1-24-39	3-08-65	6-27-4		
寺 井 美穂子	30-4	1-06-78	2-31-0			
池 永 佳 子	32-0	1-14-0		5-25-6	11-18-3	
今 村 美 女 子	39-3	1-25-4	3-00-91			
島 田 多 恵 子		<u>1-09-0</u>				
林 久 美 子						
番 場 順 子	32-4	1-12-0				
松 井 寿		<u>1-16-9</u>	2-50-04	5-56-29		
吉 川 智 子						

ス ト ー 覧 表

100Fly	200Fly	100Ba	200Ba	100Br	200Br	200IM	400IM
	2-53-6				3-21-2	2-44-8	5-58-37
		1-29-1	3-16-8			2-55-3	
<u>1-02-7</u>	<u>2-45-9</u>					<u>2-38-9</u>	
						<u>2-47-4</u>	
				<u>1-20-7</u>	<u>3-11-4</u>	<u>3-24-3</u>	
<u>1-14-6</u>							
		1-22-07		<u>1-22-9</u>	3-22-1		
<u>1-14-6</u>					<u>3-13-3</u>	<u>2-46-8</u>	6-21-44
	3-10-3			<u>1-20-5</u>	3-03-42	<u>2-48-4</u>	
		1-08-69	2-35-0				
						2-41-15	5-41-40
1-05-15	<u>2-30-8</u>					<u>2-37-7</u>	5-42-4
<u>1-53-0</u>				<u>1-49-2</u>			
			3-05-8				
				<u>1-35-9</u>	<u>4-00-7</u>		
<u>1-14-5</u>	3-09-49	1-15-0	<u>2-50-6</u>			2-35	
				<u>1-19-5</u>	3-05-9		7-18-6
		1-26-30					
		<u>1-45-4</u>		<u>1-46-8</u>	3-53-2		
1-08-02	2-33-05	<u>1-18-7</u>	<u>2-53-0</u>			<u>2-44-9</u>	
						<u>2-55-4</u>	
				1-35-60	3-20-08		
				<u>1-25-8</u>			
					3-17-5	<u>2-47-9</u>	6-07-41
		1-23-27	2-56-37				

歴代 10 傑表

今年から、長水路のみの順位の欄を設けました。このことに関して感想をお聞かせください。

〔表の見方〕

長水路・短水路 総合順位	名 前	記録をだした 年 度	記 録 (L・長水路 T・短水路)	長水路のみの 順 位
-----------------	-----	---------------	----------------------	---------------

〔 男子 〕

50m自由形

1	中畑 寛之	H 4	26-1(L)	1
2	竹田 匡志	H 5	26-2(L)	2
3	浜川 広海	S 26	26-6(L)	3
	木村 一也	H 2	26-6(L)	3
5	奥村 直樹	S 63	26-7(L)	5
6	上山 敏正	H 3	26-9(L)	6
	渡辺 雅人	H 5	26-9(L)	6
8	井上 聡	S 63	27-1(S)	
9	河原 知成	H 5	27-6(L)	8
10	諫山 大介	H 5	27-7(L)	9

*昭和26年度全国学生選手権獲得

100m自由形

1	後呂 忠詳	S 61	56-7(S)	
		S 62	58-0(L)	4
2	川原田 貢	S 57	57-1(S)	
		S 59	57-3(L)	1
3	東 圭紀	S 63	57-3(S)	
4	竹田 匡志	H 4	57-75(L)	2
5	木村 一也	H 3	57-8(L)	3
6	金 一波	S 56	58-6(S)	
7	中畑 寛之	H 4	58-7(L)	5
8	浜川 広海	S 26	58-8	6
	杉山 和広	S 53	58-8(S)	
10	吉田不二彦	S 59	58-9(S)	
		S 59	59-8(L)	8
	井上 聡	H 1	58-9(L)	7

200m自由形

1	川原田 貢	S 59	2-07-5(L)	1
2	木村 一也	H 3	2-08-0(L)	2
3	久保田勝己	S 58	2-08-5(S)	
4	浜川 広海	S 26	2-09-0	3
	当麻 尚正	H 2	2-09-0(S)	
6	後呂 忠詳	S 62	2-10-2(S)	
7	井上 聡	H 3	2-10-3(S)	
8	古谷 拓裕	S 62	2-10-7(L)	4
9	東 圭紀	S 62	2-10-9(S)	
		S 62	2-11-4(L)	5
10	山田 基洋	H 5	2-11-48(L)	6

400m自由形

1	古谷 拓裕	S 63	4-36-0(L)	1
2	久保田勝己	S 58	4-37-4(L)	2
3	当麻 尚正	H 2	4-38-2(L)	3
	山田 基洋	H 5	4-38-20(L)	3
5	藤本 博之	H 4	4-42-8(L)	5
6	高倉 信之	H 3	4-46-1(S)	
7	井上 聡	H 1	4-46-6(S)	
8	川原田 貢	S 57	4-46-9(S)	
9	上田 純也	H 5	4-49-6(L)	6
10	近藤 直明	S 62	4-49-7(S)	
		S 61	4-54-0(L)	7

800m 自由形

1	古谷 拓裕	S 63	9-36-8(L)	1
2	藤本 博之	H 2	9-44-5(S)	2
		H 3	9-45-9(L)	
3	久保田勝己	S 56	9-47-4(S)	3
		S 57	9-49-0(L)	
4	山田 基洋	H 5	9-56-1(L)	4
5	近藤 直明	S 60	10-11-7(L)	5
6	高倉 信之	H 3	10-15-6(S)	6
7	中川 善雄	S 60	10-19-2(S)	
		S 60	10-25-0(L)	
8	山本 隆	S 53	10-22-1(S)	7
9	上田 剛弘	S 51	10-26-7(L)	
10	上田 純也	H 5	10-32-5(L)	8

1500m 自由形

1	古谷 拓裕	S 63	18-28-5(L)	1
2	藤本 博之	H 4	18-34-0(L)	2
3	久保田勝己	S 58	18-37-5(L)	3
4	山田 基洋	H 5	18-50-16(L)	4
5	近藤 直明	S 62	19-20-1(L)	5
6	高倉 信之	H 3	19-48-6(L)	6
7	上田 純也	H 5	19-48-9(L)	7
8	岡崎 憲之	H 1	20-01(L)	8
9	中川 善雄	S 60	20-07-0(L)	9
10	浦野 敏明	S 57	20-08-3(L)	10

100m バタフライ

1	小南 裕明	S 63	1-01-4(L)	1
2	加藤 有道	H 3	1-02-9(L)	2
3	竹田 匡志	H 5	1-03-1(L)	3
4	当麻 尚正	H 2	1-03-5(L)	4
5	吉岡 宏之	S 58	1-04-0(L)	5
		S 49	1-04-0(L)	
7	高岡英一郎	H 1	1-04-6(L)	7
8	佐敷 定雄	S 48	1-04-8(L)	8
9	郡 幸雄	S 60	1-05-0(L)	9
10	小畑 真樹	H 5	1-05-15(L)	10

200m バタフライ

1	小南 裕明	H 5	2-14-84(L)	1
2	加藤 有道	H 3	2-21-9(L)	2
3	当麻 尚正	H 2	2-24-2(L)	3
4	郡 幸雄	S 60	2-24-6(L)	4
5	坂田 純孝	S 59	2-26-6(L)	5
6	高岡英一郎	H 4	2-27-3(L)	6
7	佐敷 定雄	S 48	2-29-69	7
8	小畑 真樹	H 5	2-30-8(L)	8
9	吉岡 宏之	S 57	2-34-0(S)	9
10	岡崎 憲之	S 62	2-34-6(L)	

100m 背泳

1	徳永 守	S 62	1-06-2(S)	3
		S 60	1-07-9(L)	
2	小笠原朝隆	S 64	1-06-6(L)	1
3	杉山 和弘	S 53	1-07-7(S)	2
		H 5	1-07-7(L)	
5	吉田不二彦	S 59	1-08-6(L)	4
		H 1	1-08-6(L)	
大場 理世	H 5	1-08-69(L)	4	
				8
9	川原田 貢	S 59	1-09-6(S)	7
10	浅川 明弘	S 62	1-10-3(S)	
		H 2	1-10-5(L)	

200m 背泳

1	小笠原朝隆	S 63	2-26-2(L)	1
2	井上 達晃	S 63	2-26-8(L)	2
3	上山 敏正	H 5	2-29-1(L)	3
4	徳永 守	S 60	2-29-7(L)	4
5	坂田 純孝	S 56	2-30-4(S)	5
6	吉田不二彦	S 58	2-31-2(S)	
7	杉山 和弘	S 54	2-34-1(S)	8
		53	2-34-2(L)	
8	木村多加緒	S 43	2-34-8(S)	8
		S 43	2-37-0(L)	
9	酒井 正人	S 52	2-35-2(S)	6
10	浅川 明弘	H 2	2-35-5(L)	

100m 平泳

1	後呂 忠詳	S 61	1-10-5(L)	1
2	柴田 孝	H 5	1-10-81(L)	2
3	西尾 泰紀	H 4	1-12-6(L)	3
4	林 均	S 62	1-12-9(S)	
5	笠田 幸介	H 2	1-13-3(S)	
		H 1	1-14-4(L)	5
6	長崎 真人	S 57	1-13-6(S)	
		S 58	1-14-0(L)	4
7	鈴木 俊彦	S 42	1-14-2(S)	
		S 42	1-14-7(L)	6
8	慈幸 弘樹	S 53	1-15-3(S)	
		S 53	1-16-8(L)	9
9	浦野 俊明	S 58	1-15-6(L)	7
10	守沖 敦	S 63	1-16-4(L)	8

200m 個人メドレー

1	東 圭紀	H 2	2-20-4(L)	1
2	木村 一也	H 2	2-24-1(L)	2
3	当麻 尚正	H 2	2-25-8(L)	3
4	小南 裕明	H 5	2-26-2(L)	4
5	浦野 俊明	S 59	2-29-5(L)	5
6	藤本 克彦	H 4	2-30-5(L)	6
7	後呂 忠詳	S 60	2-31-0(L)	7
8	原田久富美	S 60	2-32-7(L)	8
	小笠原朝隆	S 63	2-32-7(L)	9
10	慈幸 弘樹	S 52	2-33-0(S)	
		S 53	2-35-6(L)	10

400m メドレーリレー

1	上山・柴田・小南・竹田	4-18-44	H 5
2	小笠原・林・小南・東	4-19-2	H 1
3	上山・西尾・小南・木村	4-19-9	H 4
4	小笠原・林・小南・東	4-20-0	S 63
5	小笠原・後呂・郡・浜田	4-21-1	S 61

200m 平泳

1	柴田 孝	H 5	2-36-59(L)	1
2	後呂 忠詳	S 60	2-37-9(L)	2
3	長崎 真人	S 58	2-40-5(L)	3
4	笠田 幸介	H 2	2-41-8(L)	4
5	西尾 泰紀	H 3	2-42-6(L)	5
6	林 均	H 1	2-43-6(L)	6
7	平石 康	S 52	2-45-3(S)	
8	鈴木 俊彦	S 43	2-45-5	7
9	有利 英明	S 62	2-45-6	
10	藤本 克彦	H 1	2-46-6(L)	8

400m 個人メドレー

1	東 圭紀	S 63	5-06-1(L)	1
2	当麻 尚正	H 2	5-13-4(L)	2
3	浦野 俊明	S 59	5-20-3(L)	3
4	吉谷 拓裕	S 63	5-20-7(L)	4
5	藤本 克彦	H 4	5-22-2(L)	5
6	山本 隆	S 53	5-25-9(S)	
		S 53	5-43-6(L)	8
7	村田 功	S 62	5-34-6(S)	
8	久保田勝己	S 56	5-38-4(S)	
9	原田久富美	S 60	5-40-1(S)	
10	坂田 純孝	S 57	5-40-7(L)	6
	三好 岳	S 60	5-40-7(L)	6

400m リレー

1	上田・上山・柴田・竹田	3-55-13	H 5
2	竹田・小南・木村・中畑	3-55-4	H 4
3	中畑・木村・東・井上	3-55-5	H 2
	中畑・井上・木村・東	3-56-3	H 2
4	川原田・浜田・原田・後呂	3-56-5	S 60
5	井上・中畑・加藤・木村	3-57-0	H 3

800m リレー

1	山田・上田・竹田・小南	8-45-47	H 5
2	木村・山田・藤本・加藤	8-46-5	H 3
3	当麻・小南・井上・東		H 2
	当麻・井上・小南・東	8-47-8	H 2
4	山田・木村・藤本・小南	8-47-9	H 4
	山田・木村・小南・藤本	8-49-6	H 4
	木村・小南・藤本・山田	8-52-2	H 4
5	東・古谷・当麻・小南	8-52-9	S 63

〔女子〕

50m 自由形

1	寺井美穂子	H 4	30-4 (L)	1
2	小笠原恭子	H 4	30-69(L)	2
3	村上 美和	S 63	30-9 (L)	3
4	宮下 静子	H 2	31-8 (S)	
5	井上 優子	H 4	32-27(L)	4

200m 自由形

1	川上 景子	S 62	2-26-4(L)	1
2	小笠原恭子	H 3	2-30-20(L)	2
3	寺井美穂子	H 4	2-31-0(L)	3
4	坂東 美枝	S 56	2-32-6(S)	
5	山口 敦与	S 60	2-37-4(L)	4

100m バタフライ

1	寺井美穂子	H 4	1-08-02(L)	1
2	坂東 美枝	S 57	1-14-3(S)	
3	川上 景子	S 60	1-20-9(L)	2
4	宮下 静子	H 1	1-21-8(S)	
5	大野 智恵	S 52	1-25-6(S)	

1	寺井美穂子	H 4	1-08-02(L)	1
2	坂東 美枝	S 57	1-14-3(S)	
3	川上 景子	S 60	1-20-9(L)	2
4	宮下 静子	H 1	1-21-8(S)	
5	大野 智恵	S 52	1-25-6(S)	

1000m

1	寺井美穂子	H 3	1-06-78(L)	1
2	小笠原恭子	H 4	1-07-77(L)	2
3	川上 景子	S 61	1-07-9(L)	3
4	村上 美和	S 60	1-10-7(L)	4
5	坂東 美枝	S 56	1-11-7(L)	5

100m 自由形

1	川上 景子	S 60	5-12-5(L)	1
2	坂東 美枝	S 56	5-18-5(S)	
3	小笠原恭子	H 3	5-28-1(L)	2
4	山口 敦与	S 60	5-28-7(L)	3
5	坂上 京子	H 4	5-41-3(L)	4

400m 自由形

1	寺井美穂子	H 3	2-33-05(L)	1
2	坂東 美枝	S 57	2-44-77(L)	2
3	川上 景子	S 60	3-00-7(S)	
4	大野 智恵	S 52	3-26-9	
5	嶋田 陽子	S 55	3-32-4(L)	3

200m バタフライ

1	寺井美穂子	H 3	2-33-05(L)	1
2	坂東 美枝	S 57	2-44-77(L)	2
3	川上 景子	S 60	3-00-7(S)	
4	大野 智恵	S 52	3-26-9	
5	嶋田 陽子	S 55	3-32-4(L)	3

100m 背泳

1	村上 美和	S 61	1-16-8(L)	1
2	寺井美穂子	H 4	1-20-8(S)	
3	坂東 美枝	S 58	1-21-7(S)	
4	吉川 智子	H 5	1-23-27(L)	2
5	笈 朋子	H 2	1-23-8(L)	3

200m 背泳

1	村上 美和	S 63	2-48-4(L)	1
2	寺井美穂子	H 3	2-53-0(S)	
3	吉川 智子	H 5	2-56-37(L)	2
4	坂東 美枝	S 56	2-58-6(S)	
5	笈 朋子	H 2	2-59-3(L)	3

100m 平泳

1	宮下 静子	S 63	1-27-5(L)	1
2	松井 玲子		1-30-2	2
3	川島えみこ	S 56	1-32-0(S)	
4	国本 温代		1-33-1(S)	
5	坂東 美枝	S 56	1-33-8(S)	

200m 平泳

1	川上 景子	S 61	3-06-2(S)	
		S 60	3-10-2(L)	1
2	宮下 静子	S 63	3-12-6(L)	2
3	川島えみこ	S 58	3-16-6	3
4	番場 順子	H 5	3-17-5(L)	4
5	坂東 美枝		3-17-6(S)	

200m 個人メドレー

1	寺井美穂子	H 3	2-44-9(S)	
2	川上 景子	S 60	2-45-5(L)	1
3	番場 順子	H 5	2-52-46(L)	2
4	坂東 美枝	S 56	2-54-5(L)	3
5	村上 美和	S 61	2-54-8(L)	4

400m 個人メドレー

1	川上 景子	S 62	5-53-0(L)	1
2	坂東 美枝	S 56	6-04-0(S)	
3	番場 順子	H 5	6-07-41(L)	2
4	村上 美和	S 61	6-35-2(S)	
5	石本日和子		6-52-5(L)	3

400m メドレーリレー

1	吉川・番場・寺井・小笠原	5-08-8	H 5
	吉川・今村・寺井・小笠原	5-17-42	H 5
	吉川・今村・寺井・小笠原	5-19-88	H 5
2	小笠原・今村・寺井・坂上	5-22-7	H 4
3	村上・宮下・川上・枝沢	5-23-1	S 63
	村上・宮下・川上・枝沢	5-26-9	S 63
	村上・宮下・川上・枝沢	5-27-2	S 63
	村上・宮下・川上・枝沢	5-27-5	S 63
4	村上・山口・川上・木村	5-31-1	S 60
5	加地・三住・坂東・木村	5-35-6	S 59

200m リレー

1	寺井・坂上・井上・小笠原	2-06-9	H 4
2	寺井・番場・伊藤・小笠原	2-08-03	H 5
3	木村・山口・村上・川上	2-08-3	S 60
4	宮下・枝沢・村上・川上	2-08-6	S 63
	宮下・枝沢・村上・川上	2-09-1	S 63
5	川上・村上・加地・林	2-09-8	S 61

400m リレー

1	伊藤・番場・寺井・小笠原	4-40-5	H 5
2	寺井・坂上・井上・小笠原	4-41-5	H 4
	寺井・坂上・井上・小笠原	4-44-7	H 4
3	川上・村上・山口・木村	4-45-1	S 60
4	川上・村上・加地・林	4-50-1	S 61
5	宮下・枝沢・村上・川上	4-53-1	S 63
	宮下・枝沢・村上・川上	4-53-4	S 63



2H	3-01-1	藤岡小・中野・藤野・越前	1
4H	6-16-4	藤岡小・土井・土井・共済	2
4H	7-24-1	藤岡小・土井・土井・共済	3
882	1-34-4	鈴木・山田・土井・土井	8
152	1-20-1	林・山田・土井・土井	4
252	1-23-1	土井・土井・共済・不登	2
282	1-23-4	土井・土井・共済・不登	2

原稿募集

「俊泳」誌は会員相互の連絡と親睦を図り、併せて現役部員とOBとの連繋を強化するための機関誌です。本誌をより楽しいものにするため多数の方々の御投稿をお願い致します。

原稿は400字詰め原稿用紙に横書きで5枚(2,000字)以内を原則とします。ワープロの場合は横書き1行40字に願います。

特に人名や固有名詞は正確・明瞭にお書き下さい。卒業年を付記する場合は、(昭19学)(昭24専)(昭30営)等の形に願います。新制学部の略記は、経、営、法、文、理、工、農、教、医、発、国(平成5年度から、発達科学部、国際文化学部が発足しました)とします。

原稿締切は毎年2月末日、発行は5月中旬です。

原稿の送り先は、神戸大学水泳部、または俊泳編集幹事宛に願います。

以上

(俊泳会編集幹事)

~~~~~  
編 集 後 記  
~~~~~

昨年は会財政の関係から非常に貧弱な「凌泳」しか発行できませんでしたが、今年も財政も若干改善され、従来に近いものをお届けする事が出来ました。それでも尚昨年に引き続き、相当頁を現役諸君のワープロに依存する事となりました。貴重な時間と労力をさいてくれた諸君に感謝します。

次に、昨年予告しておりました通り、会員名簿を別冊で発行しました。ご感想如何ですか。今後何年おきに発行するか、それで費用と労力がどうなるかは今後の問題です。本誌共々より良いものにするため、ご意見をお聞かせ下さい。

平成6年度から吉田不二彦君(昭60管)が「凌泳編集幹事」に加わってくれることになりました。フレッシュな感覚で本誌に新たな風を吹き込んでくれる事と思います。ご期待下さい。

(凌泳編集幹事 石井義章)

若葉の緑もすがすがしく、さわやかな季節になりました。今年もようやく皆様のお手元に「凌泳」をお届けすることができ、大変嬉しく思っております。OB諸兄には御寄稿いただき誠にありがとうございました。次号も多数の御寄稿宜しくお願いいたします。

今回の「凌泳」では、前回費用節減の為にやむを得ず省略いたしました会員名簿を、公約どおり別冊で発行することができました。又、歴代十傑表にも改変を加えました。

これらの事に関して、又、他の点につきましてでも、御気付の点や御意見、御感想がございましたら、水泳部まで御連絡下さい。特に勤務先及び住所変更の際には御連絡下さいますよう宜しくお願いいたします。

最後になりましたが、多大の御尽力を賜りました石井凌泳幹事並びに御投稿下さいましたOB諸兄、印刷にあたって色々無理をきいて下さいました出版社の青野氏に感謝いたします。

(凌泳編集責任者 今村美衣子・岡 晶子・立松裕美)

The first part of the paper discusses the nature of the problem and the various approaches that have been taken to it. It is argued that the traditional view of the problem is inadequate and that a new approach is needed. This new approach is based on the idea of the "logical possibility" of a world in which the laws of nature are different from those of our world. It is shown that this new approach is more satisfactory than the traditional one and that it provides a better understanding of the problem.

The second part of the paper discusses the implications of the new approach. It is argued that the new approach has important implications for our understanding of the nature of the world and the laws of nature. It is shown that the new approach is more satisfactory than the traditional one and that it provides a better understanding of the problem.